RAM　RW VR　RW VF　R　カード

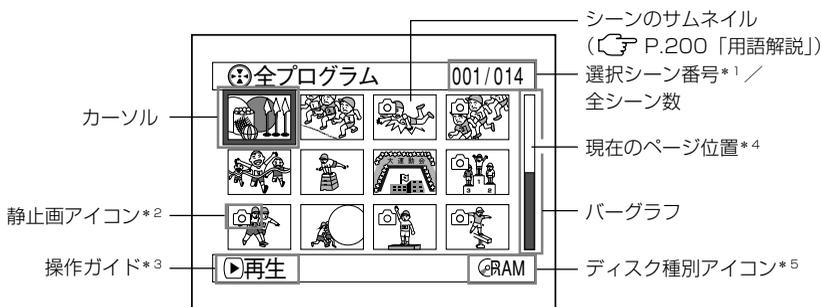
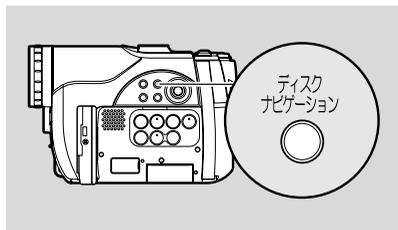
ディスクナビゲーション機能を使う

ディスクナビゲーションは、本機で撮影したシーンを再生・編集するための機能です。ここでは、ディスクナビゲーション機能を活用するために、シーンやプログラムについて説明します。
なお、説明内の画面は、基本的に DVD-RAM を使用したときの画面を使っています。DVD-RW ／ DVD-R やカードをお使いのときは表示されない項目もありますが、操作には変わりありません。

始める前に

- カメラの電源を入れてください（☞ P.49）。
  ディスクをお使いの場合 ....「🎥」または「📷」
  カードをお使いの場合 ....「カード」

ディスクナビゲーションを起動、終了する

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**
ディスクナビゲーションボタンを押すと、下記のような画面（ディスクナビゲーション画面）が表示されます。

＊１： シーン番号は、表示画面の中での表示番号です。
＊２： カードのときには、静止画アイコンは表示されません。
＊３： 操作ガイドは、そのときの操作状況により変わります。
＊４： 13 シーン以上あるときに表示されます。
＊５： カードのときには、🗋 が表示されます。

サムネイルに表示されるアイコンの種別

- ……… 静止画（☞ P.58）
- ….. スキップ（☞ P.124）
- ……… フェードイン（☞ P.123）
- ……… フェードアウト（☞ P.123）
- ……… ロック（☞ P.127）

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

ディスクナビゲーションを終了して、記録一時停止状態になります。
■(停止／キャンセル）ボタンを押しても終了します。

- 背景色でディスクとカードのどちらを使用しているかが分かります。
  紫…ディスクをお使いのとき
  緑…カードをお使いのとき
- 画面表示ボタンを押すと、カーソルのあるシーンの撮影日時が操作ガイドの位置に表示されます。もう一度押すと、操作ガイドが表示されます。

ご注意

- ディスクやカードが入っていないと、「ディスクナビゲーション」ボタンを押してもディスクナビゲーションの画面は表示されません。
- DVD-RW（VF モード）／DVD-R をご使用の場合は、ディスクナビゲーションを起動するたびに「サムネイル準備中です。」とメッセージが表示されてから、ディスクナビゲーション画面が表示されます。
- 以下のようなディスクやカードを入れたときは、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
  - ディスクプロテクトされたディスク
  - ファイナライズ済の DVD-RW（VF モード）／ DVD-R
  - 本機およびDZ-GX20/MV780/M730以前のモデルの日立製DVDカメラで記録された DVD-R
  - ロックされたカード
- ディスクナビゲーション画面を接続したテレビ画面に表示させたままにしないでください。テレビ画面に焼き付きなどの損傷を与える場合があります。

ディスクナビゲーション画面から再生する

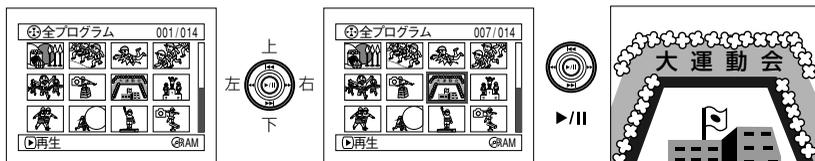
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 見たいシーンにカーソルを合わせる

⏮／⏭／⏪／⏩ を押して合わせてください。

3 ▶/II を押す

選んだシーンから再生が始まります。

▶/II

ヒント

- ⏪／⏩ を押すと、カーソルが 1 画面ずつ移動します。
  ⏮／⏭ を押すと、上下に移動したり、前後のページに移動したりします。

●再生が終わると・・・

最後のシーンの最後の場面で再生一時停止状態になります。■(停止／キャンセル）ボタンかディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。再生一時停止状態が約 5 分続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。

再生一時停止

●静止画の再生

ディスクの場合、静止画は約3秒間表示されます。カードの場合は1枚ごとに停止します。

ヒント

- 再生を一時停止させるときは、▶/II を押します。
  もう一度 ▶/II を押すと、そこから再生が始まります。
- 最後のシーンの再生が終わったあと ▶/II を押すと、ディスクの先頭から再生します。
- ■(停止／キャンセル）ボタンを押せば、いつでもディスクナビゲーション画面に戻れます。
- カード再生では“再生を開始します。”と表示され、画素数の大きな静止画を再生すると、静止画が表示されるまで時間がかかります。

複数のシーンを選ぶ

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 選択したいシーンにカーソルを合わせる

3 「選択」ボタンを押す

選択されたシーンには、赤色のワクが表示されます。
手順 2、3 を繰り返して、複数のシーンを選ぶことができます。

連続するシーンをまとめて選ぶ

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 選択したい範囲の先頭シーンにカーソルを合わせる

3 「選択」ボタンを 1 秒以上押しつづける

選んだシーンに黄色と青色の二重ワクが表示されます。

4 選択したい範囲の最後のシーンを選び、決定する

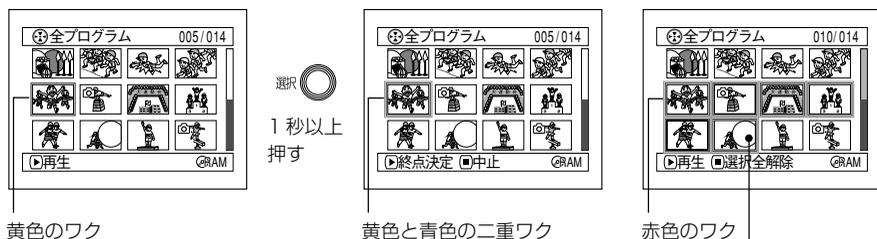
範囲指定したシーンに赤いワクが表示され、選択されます。

黄色のワク

1 秒以上
押す

黄色と青色の二重ワク

赤色のワク

このシーンまでを
選んだ場合

- シーンを選んだあとで ▶/II を押すと、選んだシーンだけ再生します。
- 選んだシーンを解除したいときは、解除したいシーンを選び「選択」ボタンを押してください。
  選んだシーンをすべて解除したいときは、■(停止／キャンセル)ボタンを押してください。
- カーソルの色とバーグラフの色で、シーンの状態が分かります。

カーソル	バーグラフ	シーンの状態
黄	水色	現在位置
青	水色	範囲選択中
赤	赤	選択済

- 選択しようとしている範囲の最後のシーンから、逆方向に範囲を選ぶこともできます。
- 手順 4 で決定する前に ■(停止／キャンセル) ボタン、または「選択」ボタンを押すと、操作を中止します。

• ディスク、カードとも選択できるシーンは、最大 999 シーンです。

ディスクナビゲーションでできること

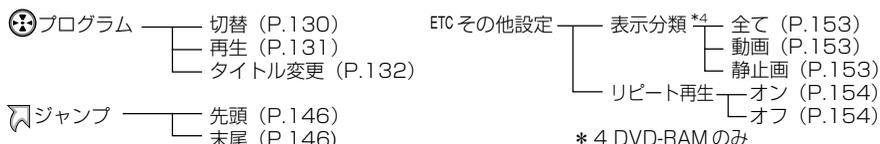
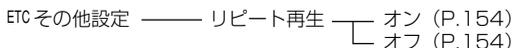
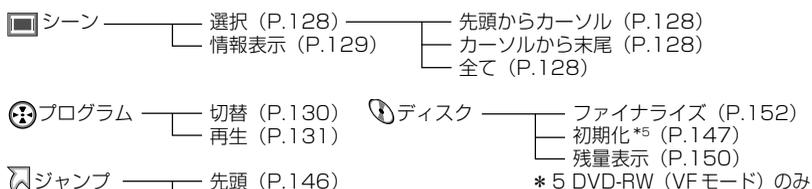
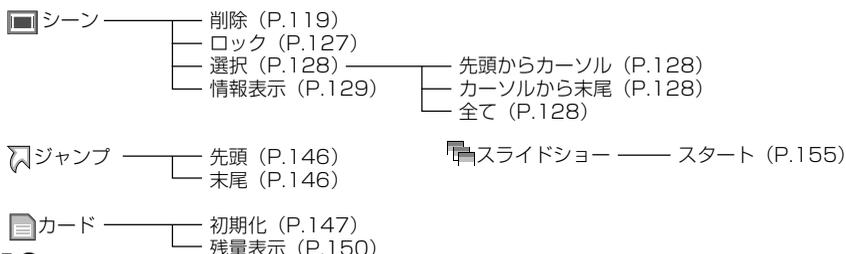
ディスクナビゲーションを使うと、さらに多彩な操作が可能です。

できること	RAM	RW（VR）	RW（VF）	R	カード	内　容	参照ページ
シーンの編集	●	●			▲*	いらないシーンを削除したり、シーンとシーンの結合やひとつのシーンを分割することができます。	P.119〜P.122
シーンの効果設定	●	●				シーンにフェードやスキップを設定したり、サムネイルを変更することができます。	P.123
ディスクからカードへのコピー	●				●	DVD-RAMに記録されている静止画をカードにコピーすることができます。	P.126
シーンのロック					●	誤ってシーンを削除したりしないように、各シーンをロックすることができます。	P.127
シーンの情報表示	●	●	●	●	●	1つのシーン、または複数のシーンの画質や記録時間などの情報を表示します。	P.129
タイトル変更	●	●				プレイリストやプログラムのタイトルを変更できます。	P.132 P.144
プレイリストの作成	●	●				シーンの組合わせを替えて、オリジナルムービーが作成できます。	P.135
ディスクまたはカードの初期化	●	●	●		●	ディスクまたはカードを本機で使えるよう初期化できます。	P.147
ディスクのプロテクト	●	●				誤ってシーンを削除したり初期化したりしないように、ディスクにプロテクトをかけることができます。	P.149
残量表示	●	●	●	●	●	あとどのくらいの時間または枚数が撮影可能かを表示します。	P.150
ディスクのファイナライズ		●	●	●		本機で撮影したDVD-RW／DVD-RをDVDプレーヤーなどでご覧になるために、DVD-RW／DVD-Rをファイナライズします。	P.152
リピート再生	●	●	●	●		プログラムやシーンの繰り返し再生ができます。	P.154
スライドショー					●	静止画の連続再生ができます。	P.155

＊削除のみできます。

- シーンの効果設定（フェード、スキップ、サムネイル）は、本機のオリジナル機能です。本機で設定したディスクを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、設定結果は反映されません。そのような場合は、P.91のようにAV/S入出力ケーブルを接続して録画（ダビング）してください。

ディスクナビゲーションメニューの流れを確認する

ディスクナビゲーション画面からメニューボタンを押すと、ディスクナビゲーションに関するメニューや、ディスク、カードに関するメニューが表示されます。
画面の見かたについては、P.92 のカメラ編 通常メニューを参照してください。
また、設定の詳細については、各参照ページをご覧ください。

シーン

RAM　RW VR　カード

シーンを削除する（編集～削除）

いらないシーンを削除してみましょう。
DVD-RW（VF モード）／DVD-R をご使用の場合、シーンの削除はできません。

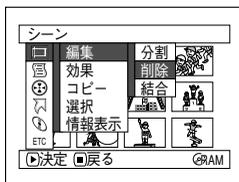
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **削除したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

3 **「シーン」→「編集」→「削除」を選び、決定する**
カードをご使用の場合は「シーン」→「削除」と選びます。

4 **「シーン削除」画面が表示されるので、削除したいシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
決定後は、「シーン削除」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンの削除もできます。

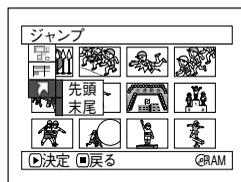
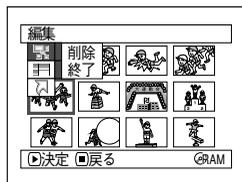
6 **■（停止 / キャンセル）ボタンを押して終了する**

削除したいシーン　（シーン選択画面）

- ディスクナビゲーション画面で削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押すと、手順 4 の画面が表示されます。
- DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の場合、シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要な方を削除します（☞ P.120）。

ご注意
- シーンの削除をしても削除部分の時間や枚数が少ない場合は、残量表示が増加しない場合があります。
- カードをご使用の場合、ロックされているシーンは削除されません（☞ P.127）。
- ディスクやカードの中のすべてのデータを消去してもよい場合は、初期化をしてください（☞ P.147）。

シーン

●サブメニューを使った編集

手順 4 のとき、▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

・「編集」
- 「削除」............................ 選択したシーンを削除します
- 「終了」............................ ディスクナビゲーション画面に戻ります

・「選択」
- 「先頭からカーソル」.... 先頭から現在カーソルのあるシーンまで選択します
- 「カーソルから末尾」.... 現在カーソルのあるシーンから末尾まで選択します
- 「全て」............................ 全てのシーンを選択します

・「ジャンプ」
- 「先頭」............................ カーソルを先頭のシーンに移動します
- 「末尾」............................ カーソルを末尾のシーンに移動します

■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、手順 4 に戻ります。

- サブメニューは各設定で表示されますが、設定によっては表示されない項目もあります。

RAM　RW VR

動画を分割する（編集〜分割）

シーンを２つに分割することができます。
シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要なほうを削除します。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 分割したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「編集」→「分割」を選び、決定する

4 「シーン分割」画面が表示されるので、分割したいシーンに変更がなければこのまま決定する

選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 分割したい位置になったら「選択」ボタンを押す

6 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する

分割しない場合は「いいえ」を選んでください。
分割後は、「シーン分割」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 〜 6 を繰り返して、他のシーンの分割もできます。

7 ■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

画面表示ボタンを押すと、再生情報表示が表示されます。

- 手順 4 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.120「サブメニューを使った編集」）。
- 分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です（☞ P.65）。
- 分割前のシーンにフェード設定をしていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれます。
- 一度分割したシーンは、結合すると元のシーンに戻ります（☞ P.121 の（編集〜結合）をご覧ください）。

- 分割位置が、指定した位置から前後に約 0.5 秒ずれる場合があります。
- スキップが設定されているシーンは、再生できないため、分割位置を指定できません。スキップを解除してから分割してください。
- 静止画を分割しようとした場合、メッセージが表示され、分割は行なわれません。
- 分割位置がシーンの先頭・末尾の場合、メッセージが表示され、分割は行なわれません。
- 記録時間が 0.5 秒以下の動画は分割できません。
- ディスクの残量が無くなると、分割できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。

RAM RW VR

複数の動画を結合する（編集〜結合）

短いシーンをたくさん撮ったときなど、一つにまとめると便利です。
結合するには、必ず連続している複数の動画を選択してください。また、表示分類が「全て」の場合（☞ P.153）のみ結合できます。
静止画を結合することはできません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 結合したいとなり合った複数のシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

複数シーンの選択は、P.116 をご覧ください。

3 「シーン」→「編集」→「結合」を選び、決定する

4 「シーン結合」画面が表示されるので、結合したいシーンに変更がなければこのまま決定する

シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する

確認画面の２つの画像は、結合する最初のシーンと最後のシーンです。
結合しない場合は「いいえ」を選んでください。
結合後は、「シーン結合」のシーン選択画面に戻ります。
サムネイルは選択した最初のシーンが表示されます。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも結合できます。

6 ■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ヒント

- 手順 4 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.120「サブメニューを使った編集」）。
- フェード設定は、選択範囲の先頭の動画のインの効果と、最終の動画のアウトの効果が引き継がれます。

ご注意
- プログラムが異なる（撮影した日が違う）シーンの結合はできません。結合したい場合は、プレイリストを作成してください（☞ P.134）。

RAM　RW VR

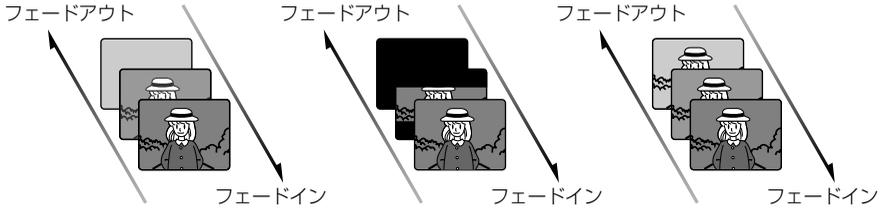
シーンを並べ替える（編集～並べ替え）

シーンの並べ替えは、プレイリスト内のシーンに限ります（☞ P.143）。
プレイリストを作成後、シーンの並べ替えを行なってください（☞ P.135（新規作成））。

シーン

RAM　RW VR

シーンを効果的に演出する（効果〜フェード）

シーンの最初と最後にフェードを設定できます。
フェード設定は次の３種類です。

ホワイト：
- 白い画面からフェードイン
- 白い画面へフェードアウト

ワイプ：
- 黒い画面から画面上下方向へフェードイン
- 画面上下方向から黒い画面へフェードアウト

モノトーン：
- 白黒の画面からカラー画面へフェードイン
- カラー画面から白黒画面へフェードアウト

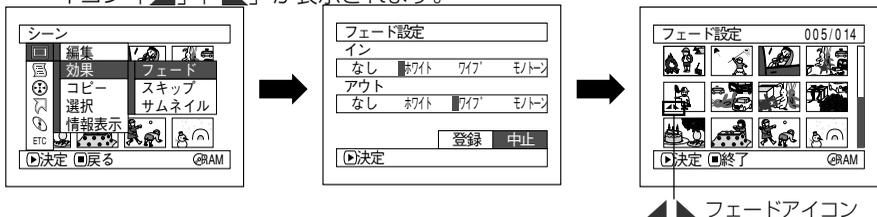
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「効果」→「フェード」を選び、決定する**

4 **「フェード設定」画面が表示されるので、設定したいシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選び、「登録」を選んで決定する**
「イン」「アウト」「登録／中止」は、⏮／⏭ でカーソル位置が移動します。
◀◀／▶▶ で効果を選び、▶/II で設定します。
設定しない場合は「中止」を選んでください。
「登録」を選んで決定すると、メッセージ表示後に「フェード設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 〜 5 を繰り返して、他のシーンにもフェード設定ができます。

6 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**
フェードイン、フェードアウトが設定されているシーンには、それぞれフェードアイコン「◢」「◣」が表示されます。

ヒント

- 本機でフェードの設定をしたディスクを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、フェードの設定は反映されません（☞ P.117「ご注意」）。

シーン

RAM RW VR

シーンを飛ばして再生する（効果〜スキップ）

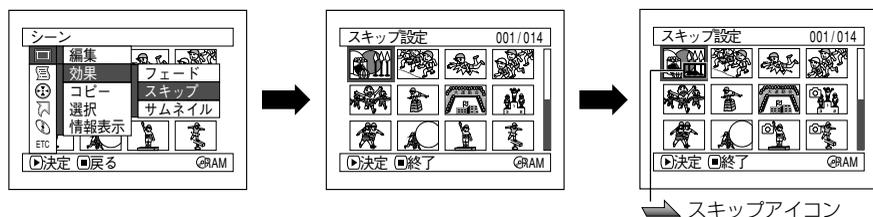
再生したくないシーンにスキップを設定しておくと、そのシーンは再生されません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

3 「シーン」→「効果」→「スキップ」を選び、決定する

4 「スキップ設定」画面が表示されるので、スキップしたいシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「スキップ設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 を繰り返して、他のシーンにもスキップ設定ができます。

5 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する
スキップが設定されているシーンには、スキップアイコン「 」が表示されます。

スキップアイコン

●スキップ設定を解除するには

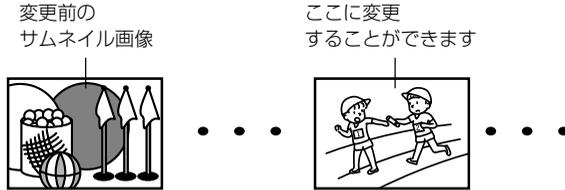
スキップと、同じように設定してください。
スキップアイコンが消え、スキップが解除されます。

ヒント

- 手順 4 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.120「サブメニューを使った編集」）。
- 本機でスキップの設定をしたディスクを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、スキップの設定は反映されません（☞ P.117「ご注意」）。

RAM　RW VR

サムネイル画像を変更する（効果〜サムネイル）

シーンの画像は、通常撮影したときの最初の場面になっていますが、この画像を変えることができます。
インパクトのある場面をサムネイルの画像に設定すると、ディスクナビゲーション画面だけで何を撮影したシーンかが一目で分かり、とても便利です。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **変更したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「効果」→「サムネイル」を選び、決定する**

4 **「サムネイル変更」画面が表示されるので、変更したいシーンに変更がなければそのまま決定する**
選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **変更したい場面になったら「選択」ボタンを押す**

6 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
変更しない場合は「いいえ」を選んでください。
変更後は、「サムネイル変更」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 〜 6 を繰り返して、他のシーンも変更できます。

7 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

- 手順 4 のとき「選択」ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.120「サブメニューを使った編集」）。
- 本機でサムネイルの設定をしたディスクを直接DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合や、パソコンに取り込む場合、サムネイルの設定は反映されません（☞ P.117「ご注意」）。

ご注意
- 静止画のサムネイル画像の変更はできません。
- スキップが設定されているシーンは再生できないため、サムネイル変更を行なえません。スキップを解除してから変更してください。

シーン

RAM カード

DVD-RAMディスクの静止画をカードにコピーする（コピー）

始める前に

- コピーしたい静止画が録画してあるDVD-RAMと、空きのあるカードを本機にセットしてください。
- 動画のコピーはできません。

1 **電源スイッチを「🎥」または「📷」に合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

3 **カードへコピーしたいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

4 **「シーン」→「コピー」を選び、決定する**

5 **「カードへコピー」の画面が表示されるので、コピーしたいシーンに変更がなければ、このまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 **コピーする場合は、「はい」を選び決定する**
コピーしない場合は「いいえ」を選んでください。
コピー後は、「カードへコピー」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 ～ 6 を繰り返して、他のシーンもカードにコピーすることができます。

7 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

- 手順 5 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.120「サブメニューを使った編集」）。
- 動画を含むシーンをすべて選択しても、静止画のみコピーされます。
- DVD-RAMに録画されている静止画を確認したい（☞ P.153（表示分類））。

ご注意

- カードからディスクへのコピーはできません。
- ディスクからカードへコピーした静止画の画質は、ディスクで録画したときの画質のままでコピーされます。
- 本機以外で記録した静止画の場合は、正常にコピーできない場合があります。

カード

カードのシーンをロックする（ロック）

カードに録画してあるシーンを誤って削除したり、編集したりしないようにシーンごとにロックすることができます。

1 電源スイッチを「カード」に合わせる

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

3 ロックしたいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

4 「シーン」→「ロック」を選び、決定する

5 「ロック設定」画面が表示されるので、ロックしたいシーンに変更がなければ、このまま決定する

シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「ロック設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

6 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ロックが設定されているシーンには、ロックアイコン「🔒」が表示されます。

●ロック設定を解除するには

ロックが設定してあるシーンを選び、同じように設定してください。
ロックアイコンが消え、ロックが解除されます。

- 手順 5 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.120「サブメニューを使った編集」）。

ご注意
- シーンにロックをかけていても、カードの初期化をすると消去されてしまいます（☞ P.147（初期化））。

シーン

連続するシーンを選択する（選択）

RAM RW VR RW VF R カード

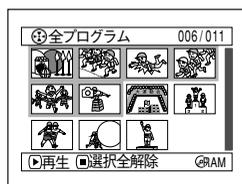
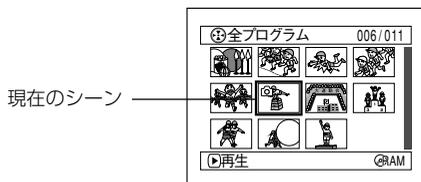
連続するシーンを一度に選択できます。
シーン数が多いときなどに便利です。

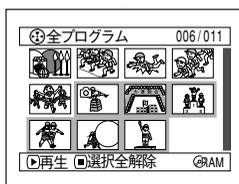
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

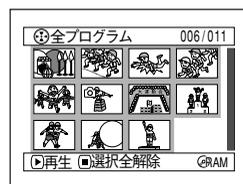
2 選択したい最初または最後のシーンにカーソルを合わせる

全てのシーンを選択するときは、そのまま手順 3 に進んでください。

3 「メニュー」ボタンを押す

4 「シーン」→「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、決定する

「先頭からカーソル」を選択

最初のシーンから現在のシーンまで選択される

「カーソルから末尾」を選択

現在のシーンから最後のシーンまで選択される

「全て」を選択

最初のシーンから最後のシーンまですべて選択される

●選択したシーンを解除する

• 1 シーンずつ解除する

解除したいシーンを選び、「選択」ボタンを押す。

• 選んだシーンをすべて解除する

■（停止／キャンセル）ボタンを押す。

• 選択可能なシーン数は、最大 999 シーンです。

RAM RW VR RW VF R カード

シーンの情報を表示する（情報表示）

シーンの録画日時や録画時間、あるいは設定したフェード設定などの情報を表示できます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

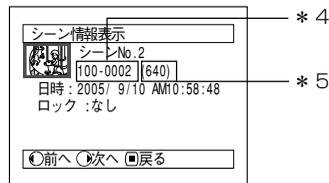
2 情報を知りたいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「情報表示」を選び、決定する

そのシーンの詳しい情報が表示されます。

4 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ディスクをお使いのとき

カードをお使いのとき

＊1 DVD-RW（VFモード）／DVD-Rをお使いのときは、表示されません。

＊2 他の機器で録画したDVD-RAM／DVD-RW／DVD-R（ファイナライズ済）が入っているときには、表示されません。

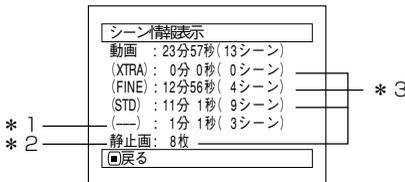
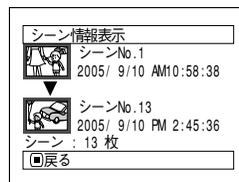
＊3 他の機器で録画したDVD-RAM／DVD-RW／DVD-R（ファイナライズ済）が入っているときには、表示されません。

＊4 DCF準拠でない場合、表示されないことがあります。

＊5 静止画の水平方向の画素数を表します。

ヒント

- DCF（Design rule for Camera File system）とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。
- 任意の1シーンのみ表示されているときは、▶▶ を押すと次のシーンの情報が表示され、◀◀ を押すと前のシーンの情報が表示されます。
- 複数のシーンを選ぶとシーンの合計録画時間（静止画の場合は合計枚数）が表示されます。

ディスクをお使いのとき

カードをお使いのとき

＊1 他の機器で録画したときなど、記録モードが不明の場合に表示されます。

＊2 DVD-RW／DVD-Rをお使いのときは、表示されません。

＊3 他の機器で録画したDVD-RAM／DVD-RW／DVD-R（ファイナライズ済）が入っているときには、表示されません。

シーン

プログラム

プログラムとは？

動画、静止画に関係なく、撮影日ごとのまとまりが「プログラム」になります。

RAM　RW VR　RW VF　R

日付ごとの表示に切り替える（切替）

本機で録画されるシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっているので、プログラムを選択することで、特定の日付のシーンだけを表示できます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **I◀◀／▶▶I／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プログラム」→「切替」を選び、決定する**

4 **表示したいプログラムを選び、決定する**
選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 「プログラム切替」画面で ■(停止／キャンセル）ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
- 他の機器で録画したディスクが入っているとき、プログラムは撮影日ごとのまとまりになっていないことがあります。

プログラムを再生する（再生）

RAM　RW VR　RW VF　R

選んだプログラムだけ再生することができます。

1　**「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2　**「メニュー」ボタンを押す**

3　**I◀◀／▶▶I／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プログラム」→「再生」を選び、決定する**

4　**再生したいプログラムを選び、決定する**
選んだプログラムの先頭から再生が始まります。

ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プログラムも繰り返し再生されます（☞ P.154（リピート再生））。

プログラムのタイトルを変更する（タイトル変更）

RAM　RW VR

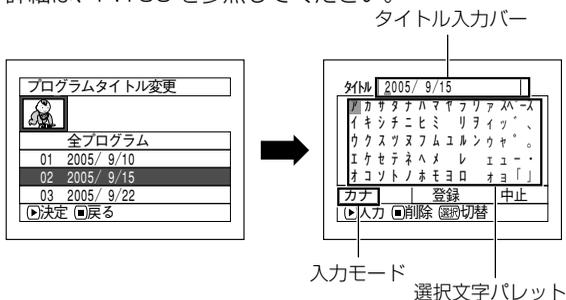
プログラムのタイトルには、撮影した日付がついています。
この日付をお好みのタイトルに変えることができます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

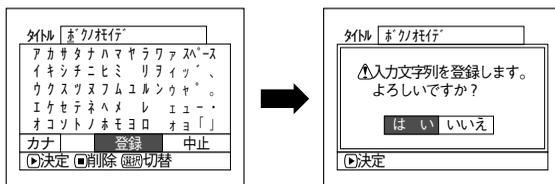
2 **「メニュー」ボタンを押す**

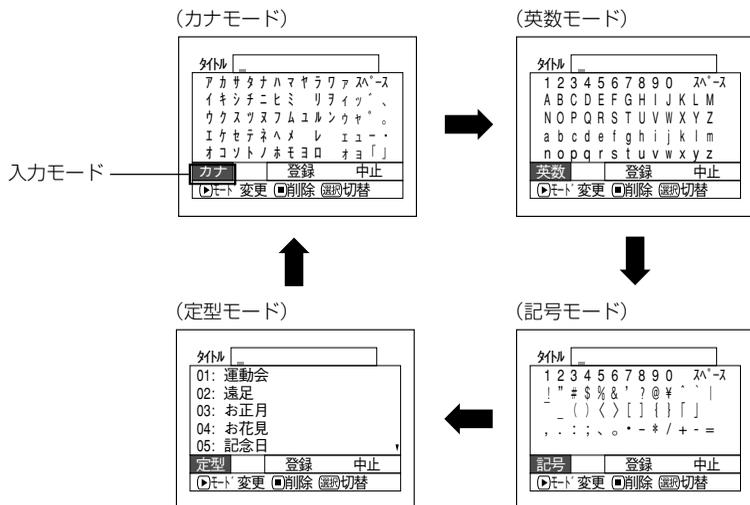
3 **⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プログラム」→「タイトル変更」を選び、決定する**

4 **タイトルを変更したいプログラムを選び、決定する**
タイトル設定画面が表示されます。

5 **⏮／⏭／◀◀／▶▶ で文字を選び、1 文字ごとに決定する**
選んだ文字が入力されます。
繰り返し行ない、タイトルをつけてください。半角で最大20文字まで設定することができます。
詳細は、P.133 を参照してください。

6 **入力が終わったら「登録」を選び、決定する**

7 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
設定しない場合は「いいえ」を選んでください。
設定後は、選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

プログラム

●タイトルの入力について

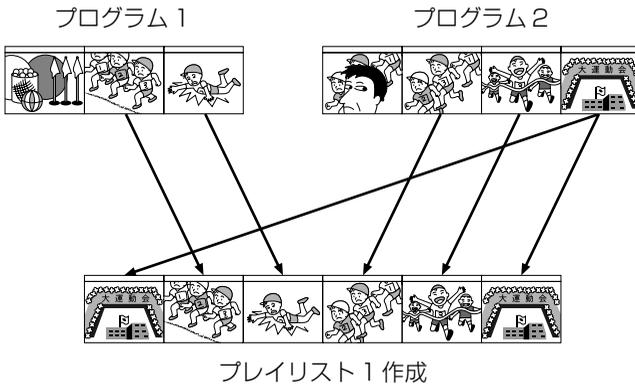
タイトルには「カナ」のほかに「英数」「記号」「定型文」から選ぶことができます。
「選択」ボタンで入力モードを選んで ▶/II を押すか、「画面表示」ボタンを押してください。
ボタンを押すごとに、下記のようにタイトル入力画面が変わります。

ヒント

- タイトルの文字を消すときは ■(停止/キャンセル) ボタンを1回押してください。1文字削除されます。
  ■(停止/キャンセル) ボタンを押しつづけると、「タイトル入力バー」に表示してある文字が、すべて削除されます。
- 文字を削除するとき、リモコンの削除ボタンを押しても同じように削除されます。
- 「選択」ボタンを押すと、カーソルの位置が「タイトル入力バー」、「選択文字パレット」、「入力モード」、「中止」の順に切り替わります。 I◀◀/▶▶I/◀◀/▶▶ で上下左右に動かして、カーソル位置を変えることもできます。
- タイトル入力を中止する場合は、タイトル入力画面で「中止」を選んでください。中止の確認画面が表示されます。中止する場合は、「はい」を選んでタイトル設定を中止してください。
- タイトル設定の確認画面で ■(停止/キャンセル) ボタンを押しても、タイトル入力画面に戻ります。
- 他の機器で全角文字のタイトルを設定した場合、本機で表示すると空白になることがあります。
- 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。

プレイリスト

プレイリストとは？

録画したシーンの中からお好みのシーンを集めたリストのことです。
データをコピーして作るわけではありませんので、ディスク容量はほとんど使いません。
また、削除しても録画できる容量は増えません。

（例）

プレイリストは No.99 まで作成可能です。
ただし、No.1 ～ No.99 までの合計シーン数は、最大 999 シーンです。

RAM　RW VR

プレイリストを作成する（新規作成）

1　**「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

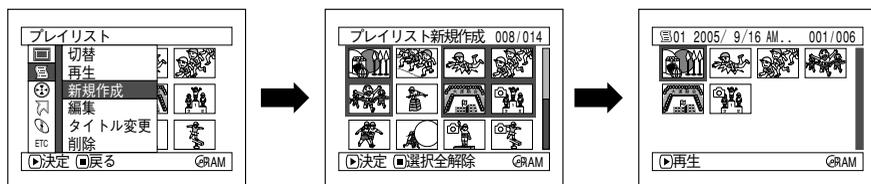
2　**プレイリストに登録したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

3　**⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プレイリスト」→「新規作成」を選び、決定する**

4　**シーン選択画面が表示されるので、選んだシーンに変更がなければこのまま決定する**
登録したいシーンを変更する場合は、ここの画面でも変更できます。（☞ P.116、128）。

5　**作成完了すると、作成されたプレイリストがディスクナビゲーション画面に表示される**

ヒント

- プレイリストに記録されるのは、シーンの情報だけです。
プレイリストを作成したり、削除しても、元のプログラムのシーンはなくなりません。
また、プレイリストのシーンを編集しても、元のプログラムのシーンには影響しません。
- プログラムのシーンに「スキップ設定」や「フェード設定」などの設定がある場合、その情報もプレイリストに加わります。
- 作成したプレイリストに別のシーンを追加したり、不要なシーンを削除することもできます（☞ P.138～141）。
- プレイリストのタイトルは、プレイリストを作成した日時となります。後からタイトルを変更することができます（☞ P.144）。
- 手順4のとき、▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニューが表示されます（☞ P.120）。

- ディスクの残量が無くなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。
この場合は、不要な映像を削除してください。

RAM RW VR

プレイリストごとの表示に切り替える（切替）

複数のプレイリストからお好みのものを選ぶと、ディスクナビゲーション画面が表示されます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プレイリスト」→「切替」を選び、決定する

4 「プレイリスト切替」画面で、表示させせたいプレイリストを選び決定する
選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻すときは、「プレイリスト切替」画面で「全プログラム」を選んでください。

●プレイリストの内容を編集する

プレイリストにタイトルをつけたり、スキップやフェードなどの設定は、シーンやプログラムに設定する方法と同じです。
それぞれの参照ページでご覧になり、設定してください。

シーンの分割 P.120
シーンの削除 P.119
シーンの結合 P.121
シーンの並べ替え .... P.143（プレイリストのみ）
フェード設定 P.123
スキップ設定 P.124
サムネイル変更 P.125
カードへコピー P.126
タイトル変更 .... P.132、P.144

RAM RW VR

プレイリストを再生する（再生）

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プレイリスト」→「再生」を選び、決定する**

4 **「プレイリスト再生」画面で、再生したいプレイリストを選び決定する**

選んだプレイリストが最初から再生されます。
再生を途中でやめたい場合は、■(停止／キャンセル) ボタンを押してください。
再生中のプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プレイリストも繰り返し再生されます（☞ P.154（リピート再生））。

プレイリスト

RAM RW VR

プレイリストにシーンを追加する（編集）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プレイリスト」→「編集」を選び、決定する

4 プレイリスト選択画面で、編集したいプレイリストを選び決定する

上段に追加できるシーンが表示され、下段に追加先のプレイリストのシーンが表示されます。

5 ⏭ を押してカーソルを下段に移し、◀◀／▶▶ を押して挿入位置を選ぶ

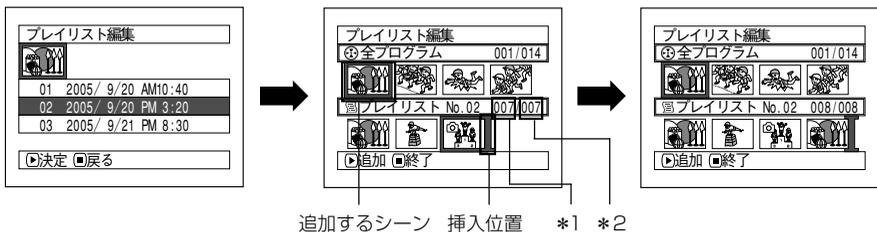
6 ⏮ を押してカーソルを上段に移し、◀◀／▶▶ を押して追加したいシーンにカーソルを合わせる

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

7 ▶/II を押して、決定する

追加が終了すると、編集後のプレイリストが表示されます。

手順 5 ～ 7 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

8 ■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

＊１：プレイリストのシーン番号

＊２：プレイリスト中の全シーン数

ヒント

- 緑の I カーソルは、画面の挿入位置を示します。
- 「画面表示」ボタンを押すと、操作ガイドに選択しているシーンの撮影日時が表示されます。もう一度押すと元に戻ります。
- 設定の途中、■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、「プレイリスト編集」終了の確認画面が表示されます。
  終了してよい場合は「はい」を選んでください。
  「いいえ」を選ぶと「プレイリスト編集」画面に戻ります。
- 手順 5 ～ 6 のときに「メニュー」ボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。このサブメニューからもシーンの追加が可能です。詳しくはP.140からの説明をご覧ください。

撮影日時

プレイリスト

RAM RW VR

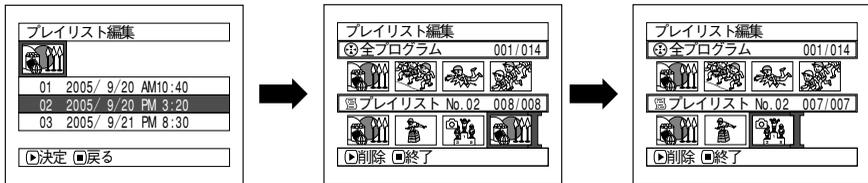
プレイリストのシーンを削除する（編集）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.138 の手順 2 ～ 4 の操作をしてください。

3 下段のプレイリストにカーソルを移動し、削除したいシーンにカーソルを合わせる
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

4 ▶/II を押して、決定する
手順 3 ～ 4 を繰り返して、他のシーンも削除できます。

5 ■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

ヒント

- 削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押しても、プレイリストのシーンを削除することができます。

編集のサブメニューを使ったシーンの追加（編集）

RAM　RW VR

編集画面のメニューで、プレイリストに別のシーンを追加することができます。

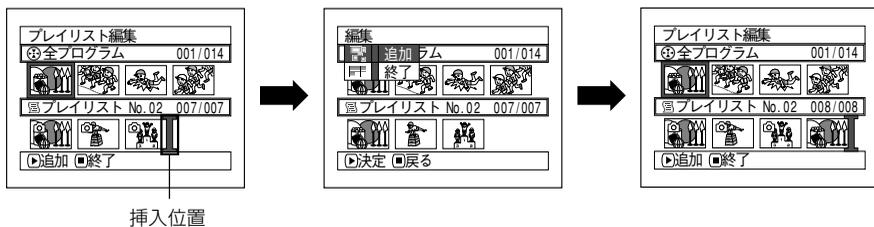
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.138 の手順 2 ～ 4 を行なってください。

3 下段のプレイリストから挿入したい位置を選ぶ

4 上段のプレイリストから追加したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

5 「編集」→「追加」を選んで、決定する
手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

6 ■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

プレイリスト

編集のサブメニューを使ったシーンの削除（編集）

RAM　RW VR

編集画面のメニューで、プレイリストのシーンを削除することができます。

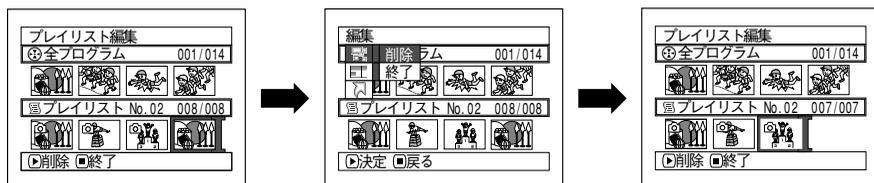
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.138 の手順 2 ～ 4 を行なってください。

3 カーソルを下段のプレイリストに移動させる

4 削除したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

5 「編集」→「削除」を選び、決定する
手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも削除できます。

6 ■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

ヒント

- プレイリストに登録してあるシーンをすべて削除すると、プレイリストも削除されます。

編集のサブメニューを使ったシーンの選択（編集）

RAM　RW VR

連続している複数のシーンをプレイリストに追加したり、プレイリストから連続している複数のシーンを削除するときに、シーンの範囲を指定することができます。
シーンの追加や削除で、複数のシーンを選択するときに便利です。

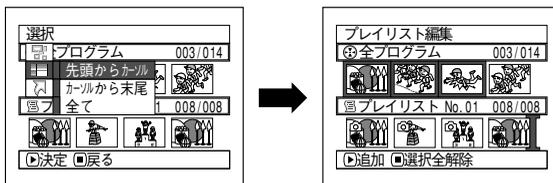
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **編集したいプレイリストの編集画面を表示させる**
P.138 の手順 2 ～ 4 を行なってください。

3 **選択したい最初または最後のシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**
全てのシーンを選択するときは、そのまま「メニュー」ボタンを押してください。

4 **⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、決定する**
選択されるシーンについては、P.128 を参照してください。

5 **■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される**

RAM RW VR

シーンの並べ替え（編集）

シーンの並べ替えができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押してから、I◀◀／▶▶I／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プレイリスト」→「切替」で編集したいプレイリストを選び、決定する

P.136 のプレイリスト「切替」を参照してください。

3 移動したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.116、128）。

4 「シーン」→「編集」→「並べ替え」を選び、決定する

5 「並べ替え（シーン選択）」画面が表示されるので、移動したいシーンに変更がなければ、このまま決定する

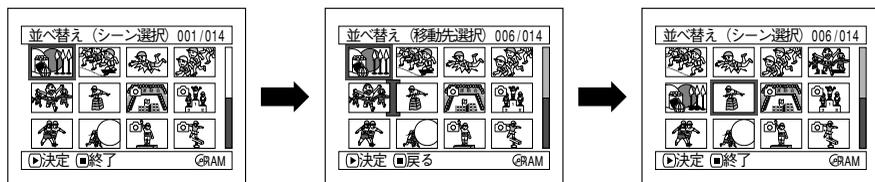
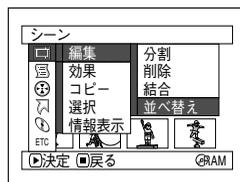
手順 3 で選択したシーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 移動したい場所へ I マークを移動して、決定する

7 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する

並べ替えをしない場合は「いいえ」を選んでください。
並べ替え後は、「並べ替え（シーン選択）」画面に戻ります。
手順 5 ～ 7 を繰り返して、他のシーンも並べ替えることができます。

8 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ヒント

- 手順 5 のとき▶/IIを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.120「サブメニューを使った編集」）。

ご注意
- シーンの並べ替えができるのはプレイリストのみです。
- DVD-RAM をご使用の場合、シーンの並べ替えができるのは表示分類が「全て」の場合のみです（☞ P.153）。

プレイリストのタイトルを変更する（タイトル変更） RAM RW VR

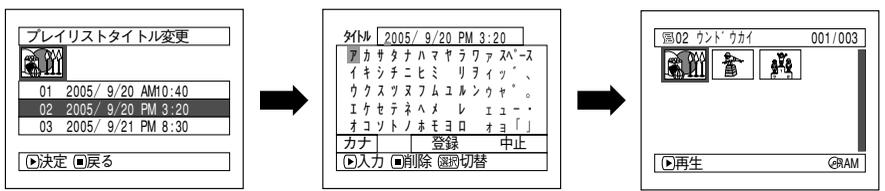
プレイリストのタイトルには作成順に付く通し番号と、プレイリストを作成した日時が設定されています。
このタイトルをお好みのタイトルに変更することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「プレイリスト」→「タイトル変更」を選び、決定する

4 「プレイリストタイトル変更」画面で、タイトルを変更したいプレイリストを選び決定する

タイトル設定画面が表示されます。
タイトルの設定方法は、P.132 プログラムの「タイトル変更」をご覧ください。
タイトル変更後は、タイトルを変更したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。
プレイリストの作成日時のかわりに設定したタイトルが表示されます。
設定後は、選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

- 登録したタイトルは、同じ手順で何度でも変更できます。

プレイリスト

RAM RW VR

プレイリストを削除する（削除）

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **⏮／⏭／⏪／⏩／▶/IIを使って「プレイリスト」→「削除」を選び、決定する**

4 **「プレイリスト削除」画面で、削除したいプレイリストを選び決定する**

5 **確認画面が表示されるので「はい」を選び決定する**

削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
削除後は、全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

- プレイリストを削除しても、元のシーン（プログラムのシーン）は削除されません（☞ P.135）。
- プレイリストを削除すると、プレイリスト番号は自動的に変更されます（例えば、No. 2のプレイリストを削除すると、No. 3のプレイリストがNo. 2のプレイリストになります）。

RAM RW VR RW VF R カード

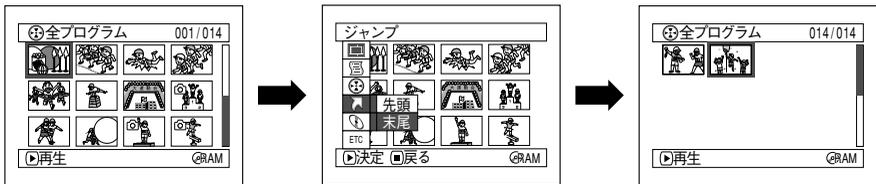
ジャンプ

ディスクナビゲーション画面で、先頭のシーンまたは末尾のシーンにジャンプすることができます。

先頭へ（末尾へ）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「ジャンプ」→「先頭」または「末尾」を選び、決定する

（末尾を選択した場合）

ディスクまたはカード

RAM　RW VR　RW VF　カード

ディスクやカードを初期化する（初期化）

DVD-RAM／DVD-RWおよびカードは、初期化することによって記録したすべての内容を削除することができます。また、DVD-RWは、本機で最初に使用する前に初期化が必要です。

始める前に

- 初期化するときは、途中で電源が切れないように、必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。初期化の途中で電源が切れて中断すると、正しく初期化されません。正しく初期化されないディスクは使用することができなくなります。
- 新品のDVD-RW／DVD-Rをお使いになると、「このディスクは初期化されていません」と表示されます。表示されるメッセージに従い、初期化してください（☞ P.29、P.52）。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

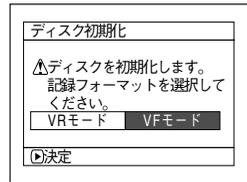
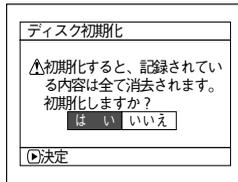
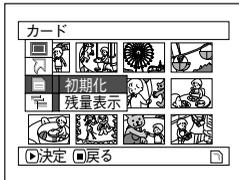
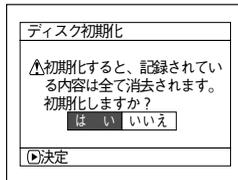
2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「ディスク」または「カード」→「初期化」を選び、決定する**

「ディスク初期化」または「カード初期化」の確認画面が表示されます。

4 **「はい」を選び、決定する**

初期化しないときは「いいえ」を選んでください。
DVD-RWをお使いのときは、VFモードもしくはVRモードを選択する画面が表示されます。

（ディスクの場合）

（DVD-RWをお使いのときにのみ表示されます。）

（カードの場合）

ディスクまたはカード

- 撮影済みの内容をすべて消去したい場合、シーンを削除するより、初期化したほうが短時間で消去できるので便利です。

- 初期化すると録画された内容はすべて消去されます。誤って初期化しないよう、よく確認してから行なってください。
- 傷や汚れの多いディスクは、初期化ができない場合があります。このようなディスクは使用できません(☞P.31)。
- パソコンや他機で初期化したディスクやカードでは、本機で認識できない場合や記録/再生できない場合があります。
- 本機とパソコンをPC接続ケーブルで接続し、本機に挿入したディスクやカードを初期化した場合は、正常に初期化できず、ディスクやカードが使用できなくなる場合があります。
- ファイナライズされたDVD-RW（VRモード）の初期化でVRモードを選択すると、ファイナライズは解除されません。(記録データの無い、ファイナライズ済のディスクとなり、記録はできるようになります。）VFモードを選択すると、ファイナライズが解除されます。

RAM RW VR

ディスクを書き込み禁止にする（プロテクト）

DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録してある映像を誤って削除したり、初期化したりできないように、プロテクトをかけることができます。ディスクプロテクトを設定すると、解除するまで録画もできなくなります。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

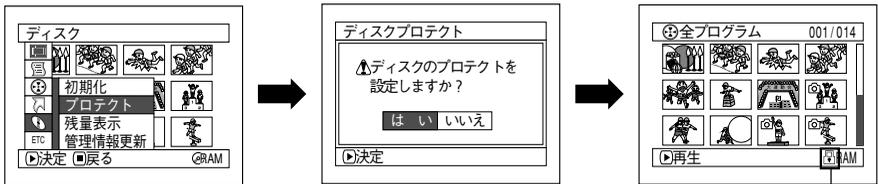
2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「ディスク」→「プロテクト」を選び、決定する

確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する

設定しないときは「いいえ」を選んでください。

設定後は、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ディスクプロテクトアイコン

- ディスクプロテクトを解除するときは、同様の操作をすると、プロテクト解除の確認画面が表示されます。
  解除する場合は、「はい」を選んで解除してください。

- 他の機器でプロテクトを設定した場合、プロテクトを解除できない場合があります。その場合は、プロテクトをかけた機器で解除してください。

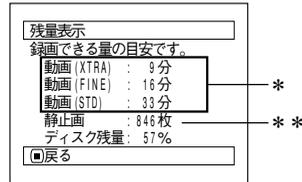
RAM RW VR RW VF R カード

残量表示

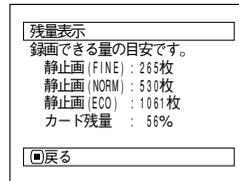
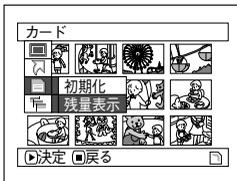
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 **⏮/⏭/◀◀/▶▶/▶/IIを使って「ディスク」→「残量表示」を選び、決定する**
「残量表示」の画面が表示されます。

（ディスクをお使いのとき）

＊　DVD-RW（VFモード）／DVD-Rをお使いの場合は、最初に録画したモード（XTRA/FINE/STD）のみ表示されます。

＊＊DVD-RW ／ DVD-R をお使いの場合は、表示されません。

（カードをお使いのとき）

4 **■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**
ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

- ディスクプロテクト（☞ P.200「用語解説」）されたディスクやロックされたカードでは、残量が0と表示されます。

RAM RW VR

DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の管理情報を更新する（管理情報更新）

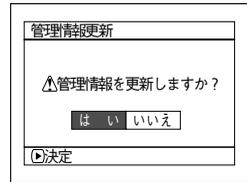
本機のディスクナビゲーションは、サムネイルやスキップ、フェードなどのシーンに関する情報が独自の方法で管理されています。
本機で録画したディスクを他の機器で編集した場合、本機のディスクナビゲーションで正常に表示されない場合があります。
このようなときに管理情報更新をお使いください。

始める前に

- 管理情報を更新するときは、途中で電源が切れないように、必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。管理情報更新の途中で電源が切れて中断すると、正しく更新されません。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「ディスク」→「管理情報更新」を選び、決定する**
「管理情報更新」の確認画面が表示されます。

4 **「はい」を選び、決定する**
更新中のメッセージが表示され、ディスクの管理情報が更新されます。
更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出ることがあります。
更新しないときは「いいえ」を選んでください。
ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- 管理情報更新は、録画されているシーンが多い場合には、時間がかかる場合があります。
- 管理情報を更新しても、本機のディスクナビゲーションで使えないディスクもあります。

RW VR RW VF R

DVD-RW／DVD-Rを他の機器で再生する（ファイナライズ）

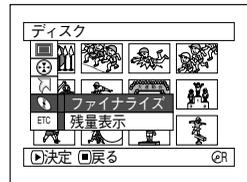
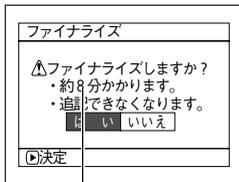
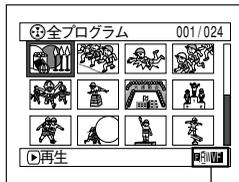
始める前に

- ディスクをファイナライズするときは、ACアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってのファイナライズはできません。ファイナライズの途中で電源が切れて中断すると、正しくファイナライズされません。ディスクが壊れることもあります。

本機で記録したDVD-RW／DVD-RをDVDプレーヤーなど、8cm DVD対応機器で再生する場合、「ファイナライズ」（☞ P.200「用語解説」）という操作が必要です。
DVDプレーヤーのメニュー画面にはプログラムの日付がタイトルとして表示されます。一度ファイナライズしたDVD-RW（VFモード）／DVD-Rには記録ができませんので、ご注意ください。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/II を使って「ディスク」の「ファイナライズ」を選び、決定する
ファイナライズの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する
ファイナライズ中のメッセージが表示され、ディスクがファイナライズされます。ファイナライズされたディスクのディスクナビゲーション画面にはⒻと表示されます。
終了すると、全プログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

＊ 録画時間により異なります。

ファイナライズ済みのディスク

DVDプレーヤーで見たときの画面（DVD-RW（VFモード）／DVD-R）

ご注意
- 本機で録画したディスクは、本機以外でファイナライズしないでください。
- すでにファイナライズされてあるディスクが入っている場合は、「ファイナライズ」のメニューは表示されません。
- ファイナライズしたDVD-RW（VFモード）／DVD-Rは、録画ができなくなります。
- ファイナライズにかかる時間は目安です。
- 録画時間が短いと、ファイナライズに時間がかかります。
- 一度ファイナライズしたDVD-RWは、二度目以降のファイナライズが早く終わることがあります。

その他設定

RAM

静止画または動画別に表示する（表示分類）

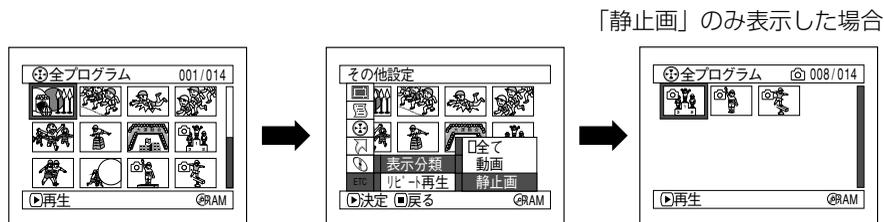
撮影したシーンは、動画・静止画に関係なく、撮影順にディスクナビゲーション画面に表示されます。
この表示を静止画だけや動画だけの表示に切り替えることができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/II を使って「その他設定」→「表示分類」を選び、決定する

4 設定したい項目を選び、決定する
「全て」......... 動画・静止画に関係なく、撮影順にすべて表示されます
「動画」......... 動画のみ撮影順に表示されます
「静止画」..... 静止画のみ撮影順に表示されます

「静止画」のみ表示した場合

ディスクナビゲーション画面を終了させると、「表示分類」は「全て」に戻ります。

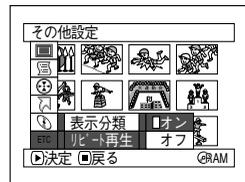
RAM RW VR RW VF R

繰り返し再生する（リピート再生）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 ⏮／⏭／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「その他設定」→「リピート再生」を選び、決定する

4 「オン」を選び、決定する
設定しないときは、「オフ」を選んでください。
▶/II を押すと、再生を始めます。

●リピート再生が設定されると

範囲を指定していないときは、最後のシーンの再生が終わると、最初のシーンからすべてのシーンの再生が繰り返されます。
範囲を指定していたときは、その範囲の再生が繰り返されます。
複数のシーンを選ぶときは、P.116、P.128 をご覧ください。

●リピート再生を解除するには

下記の３方法のどれかで解除してください。
・ 手順 4 で「オフ」を選ぶ
・ 一度電源を切る
・ 「ディスク取出し」ボタンを押して、一度ディスクを取り出す

- 再生を終了するには ■(停止／キャンセル) ボタンを押します。ただし、リピート再生の設定が解除されるわけではありません。
- 静止画のリピート再生もできます。

ご注意 • 記録一時停止した状態から再生した場合は、リピート再生しません。

カード

連続再生する（スライドショー）

カードに録画してあるシーンを再生すると、1枚再生するごとに再生一時停止状態になります。
スライドショーを設定すると、連続再生することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 I◀◀／▶▶I／◀◀／▶▶／▶/IIを使って「スライドショー」→「スタート」を選び、決定する

「スタート」.........スライドショーを開始します。

再生が終わると、最後の画像で再生一時停止状態になります。
■(停止／キャンセル) ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- カーソル位置にかかわらず最初のシーンから再生を開始します。

ご注意
- ■(停止/キャンセル) ボタンを押したり、電源を切ったりすると、スライドショーは解除されます。

パソコンと接続する

パソコンと接続してこんなことができます！

同梱のPC接続ケーブルとソフトウェアCD-ROM、または市販のソフトウェアをお使いになると、本機で撮影した動画や静止画をパソコンで利用することができます。
本機で撮影したDVD-RW／DVD-Rをパソコンで利用するには、本機でファイナライズが必要です。

● 本機で記録したDVD-RAMやカードの静止画をパソコンで利用する（☞ P.170、171）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMまたはカード	JPEGファイルが利用可能なアプリケーション • DVD-RAMまたはカードのDCIM¥100*HPNX1フォルダを開く

● 本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）をパソコンで見る（☞ P.172）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）	DVD-MovieAlbumSE** または、市販のＤＶＤビデオレコーディング（DVD-VR）規格（☞ P.199「用語解説」）対応再生ソフトウェア (例)サイバーリンク社PowerDVDなど

● 本機で記録したDVD-RW（VFモード）／DVD-Rをパソコンで見る（☞ P.173）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RW（VFモード）／DVD-R	市販のDVDビデオ（☞ P.199「用語解説」）対応再生ソフトウェア (例)サイバーリンク社PowerDVDなど

● 本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の内容をパソコンを使って別のDVD-RAMにコピーする（☞ P.170）

元のディスク	書き込むメディア	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）	別のDVD-RAM	DVD-MovieAlbumコピーツール** • 一度パソコンのハードディスクにコピーしたあと、別のDVD-RAMディスクに書き込みます。 • プログラム単位でコピーすることもできます。

● 本機で記録したDVD-RAMの映像をパソコンで編集する（☞ P.173）

元のディスク	書き込むディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAM	元のDVD-RAMまたは別のDVD-RAM	DVD-MovieAlbumSE**

● 本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の映像をパソコンに取り込んでDVDビデオ（DVD-RW／DVD-R）を作る（☞ P.175）

元のディスク	書き込むディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）	何も記録していないDVD-RW／DVD-R	• DVD-MovieAlbumSE** • DVDfunSTUDIO**

● 本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の映像をパソコンに取り込む（☞ P.184）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）	DVD-MovieAlbumSE** DVD-MovieAlbumコピーツール**

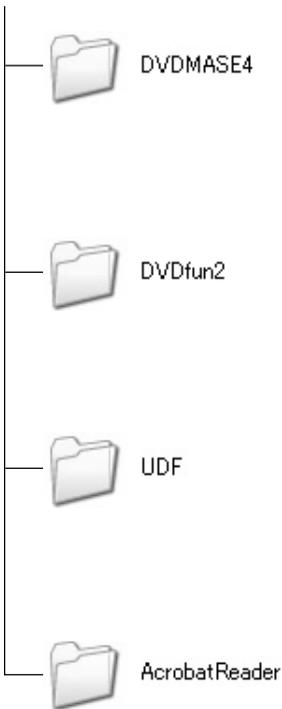
*　他のDCF対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。
** 同梱のCD-ROMに納められているソフトウェアです。

- 本機に同梱のソフトウェアでは、DVD-RW ／ DVD-R に記録した映像の編集、DVD-RW（VF モード）／DVD-R に記録した映像の再生はできません。

各ソフトウェアの対応する言語

・ DVD-MovieAlbumSE、DVDfunSTUDIO および UDF ドライバ（DVD-RAM ドライバ）は日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語（簡体字）に対応しています。
・ DVD-MovieAlbumSEに付属する3D-TitleSTUDIOは、日本語および英語に対応しています。
・ 添付ソフトウェアは、お使いのWindows®の言語と同じものが自動的にインストールされます。上記言語以外のWindows®の場合は、英語版がインストールされます。

同梱 CD-ROM の内容

本機に同梱されている CD-ROM の内容は、以下の通りです。
CD-ROMの内容を参照するには、CD-ROM をCD-ROM ドライブにセットし、マウスで右クリックして「開く」を選んでください。

DVD-MovieAlbumSE が入っています。
（インストール方法→ P.162）
DVD-MovieAlbumSE を使うと、DVD-RAM に録画した映像の再生・編集や、DVD-RWに録画した映像の再生ができます。

DVDfunSTUDIO が入っています。
（インストール方法→ P.162）
DVDfunSTUDIOを使うと、DVD-MovieAlbumSE で編集した動画から、DVD-Videoを作成することができます。

UDF ドライバが入っています。
（インストール方法→ P.162）
DVD-RAM に録画されたJPEG 静止画をパソコンで利用する場合に、インストールする必要があります。

AcrobatReader が入っています。
（インストール方法→ P.160）
お使いのパソコンに AcrobatReader がインストールされていない場合は、DVD-MovieAlbumSE、UDF ドライバのオンラインマニュアル（取扱説明書ファイル）を開くためにインストールする必要があります。

上記以外に、フォルダやファイルが入ってる場合がありますが、特に説明がない限り、本機では使用しません。

各ソフトウェアの詳細な取扱説明書は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書でのご提供になります。

● DVD-MovieAlbumSE

下記のいずれかの方法で、取扱説明書を閲覧できます。

・ 同梱CD-ROMの中の、DVDMASE 4¥manual¥Japaneseフォルダの中にあるPDFファイルを開く。
・ DVD-MovieAlbumSEをインストールした後、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「Hitachi DVDCAM」-「DVD-MovieAlbumSE」の中の「取扱説明書」を開く。

● DVDfunSTUDIO

・ DVDfunSTUDIOをインストールした後、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「Hitachi DVDCAM」-「DVDfunSTUDIO」の中の「取扱説明書」を開く。

上記のマニュアルの閲覧には、Adobe Acrobat Reader（アドビ·アクロバット·リーダー）が必要になります。
お使いのパソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、同梱CD-ROMの中のAcrobatReader¥Japanese¥AR505JPN.exeを起動してAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

● UDF ドライバ（DVD-RAM ドライバ）

・ UDFドライバ（DVD-RAMドライバ）をインストールした後、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「DVD-RAM」-「DVD-RAMドライバー」-「DVD-RAMディスクの使い方」を開く。

ソフトウェア CD-ROM を開封する前に、P.225 の「使用許諾契約書」をお読みください

使用できるパソコンの条件

同梱のソフトウェアは、Windows® 98 および Windows® 98 Second Edition には対応しておりません。

- OS：Windows® Me ／ 2000 Professional ／ XP
- パソコン：IBM PC/AT 互換（DOS/V）機
- CPU：Intel® Pentium® Ⅲ 800MHz 以上（Pentium® 4 1.8GHz 以上推奨）
  Intel®製／AMD®製以外のPentium®互換CPUでは動作しない場合があります。
- メモリ： 256MB 以上（512MB 以上推奨）
- ハードディスクの空き容量：400MB 以上（動画、静止画データをコピー、編集するのに必要な容量を除く。）
- CD-ROM ドライブ（ソフトウェアのインストールに使用します）
- 1024 × 768 ピクセル以上、および 65,536 色（16 ビットカラー）以上表示可能な DirectX® 8.1 以上に対応したディスプレイアダプタ（ビデオメモリ 4MB 以上）およびディスプレイ
- DirectSound® 対応のサウンドカード
- USB：本製品のために 1 ポートの空きが必要（USB2.0 ポートを推奨）

- 以下の場合は動作保証しません。
  - Windows® Me／2000 Professional／XP 以外の OS を使用したパソコンでの動作
  - Intel® 製、AMD® 製以外の Pentium® 互換 CPU での動作
  - USB ハブを経由して接続した場合
  - マルチプロセッサには対応していません。
- 使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組合わせにより、動作に不具合を生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。

ソフトウェアのインストール

始める前に

本機に同梱されているUDF ドライバ（DVD-RAM ドライバ）をインストールする前に、ご使用のパソコンにUDF ドライバ（日立DVD カム「DZ-MV100」用のPC接続キット「DZ-WINPC1」「DZ-WINPC2」「DZ-WINPC2B」や日立DVD カム「DZ-MV250」「DZ-MV270」用PC編集キット「DZ-WINPC3」に同梱されているInstantWrite®）がインストールされていないか確認してください。
すでにインストールされている場合は、インストールされているUDFドライバをアンインストールしたあとで、同梱のCD-ROM に入っているUDF ドライバをインストールしてください。UDF ドライバのアンインストールは「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」、または「アプリケーションの追加と削除」から行なってください。
アンインストールの途中で、「このファイルは他のアプリケーションで使っていませんが、一緒に削除しますか？」という主旨のメッセージが表示された場合には、すべて「いいえ」をクリックしてください。

- Windows® XP/2000 Professional をお使いの場合、ユーザー名を「Administrator（コンピュータの管理者）」（もしくは同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンしてからインストールしてください（権限がない場合はシステム管理者にご相談ください）。
- 本機に同梱されているソフトウェアは、異なるバージョンが共存することはできません。お使いのパソコンに異なるバージョンのソフトウェアが既にインストールされている場合には、アンインストール後に本機同梱のCD-ROM からソフトウェアをインストールする必要があります。ただし、本機に同梱されているソフトウェアをインストールすることで、異なるバージョンで使用できていた一部の機能が使用できなくなることがあります。

インストーラー画面を表示する

1 パソコンの電源を入れる
パソコンを使用している場合には、使用しているソフトウェアを全て終了してください。

2 同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する
インストーラー画面が自動的に表示されます。

インストーラー画面が自動的に表示されない場合は、以下の手順で表示します。

3 Windows®のマイコンピュータまたはエクスプローラでCD-ROMが入っているドライブを開く

4 Setup.exeアイコンをダブルクリックする
ご使用のパソコンによっては、「.exe」の拡張子が表示されない場合があります。

ソフトウェアをインストールする

1 インストーラーの「全て」をクリックする
インストーラーの「全て」をクリックすることでDVD-RAMドライバー、DVD-MovieAlbumSE 、DVDfunSTUDIOを一度にインストールすることができます。いずれかのソフトウェアがインストールされている場合には、アンインストールしてからインストールを実行してください。

2 「DVD-MovieAlbumSE」のインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする

クリック

3 「DVD-MovieAlbumSE」のインストール先フォルダに変更が無ければ「次へ」をクリックする
インストール先フォルダを変更する場合には「変更」をクリックしてインストール先フォルダを選択してください。

クリック

4 「インストール」をクリックする
インストールが始まります。

クリック

ソフトウェアのインストール

5 **ショートカットアイコンをデスクトップ画面上に作成するか確認メッセージが表示されるので、作成する場合は「はい」をクリックする**
作成しない場合は「いいえ」を選んでください。

6 **「完了」をクリックする**
次にDVDfunSTUDIOのインストールが自動的に始まります。

7 **「DVDfunSTUDIO」のインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする**

8 **「DVDfunSTUDIO」のインストール先フォルダに変更が無ければ「次へ」をクリックする**
インストール先フォルダを変更する場合には「変更」をクリックしてインストール先フォルダを選択してください。

9 **「インストール」をクリックする**
インストールが始まります。

10 **ショートカットアイコンをデスクトップ画面上に作成するか確認メッセージが表示されるので、作成する場合は「はい」をクリックする**
作成しない場合は「いいえ」を選んでください。

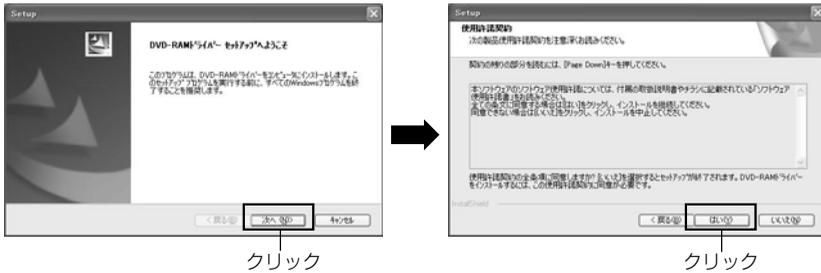
11 **「完了」をクリックする**
次にDVD-RAMドライバーのインストールが自動的に始まります。

12 **DVD-RAMドライバーインストール後の再起動を促すメッセージが表示されるので、「OK」をクリックする。**

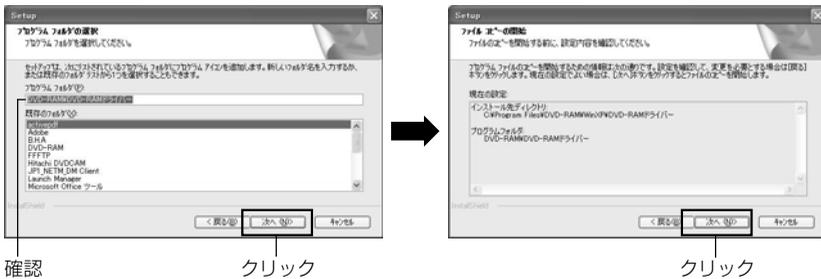
13 **ドライバセットアップ画面が表示されるので、「ドライバー・フォーマッターのセットアップ」ボタンをクリックする**

14 「次へ」をクリックする

15 **使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は、「はい」をクリックする**

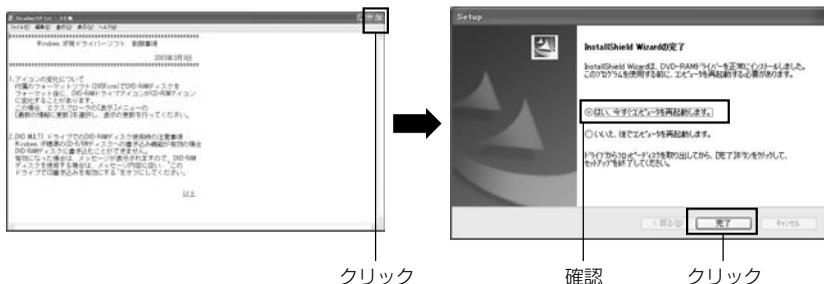
画面に表示される契約の内容は図と異なる場合があります。

16 **インストール先のフォルダに変更がなければ「次へ」をクリックする**

17 **プログラムフォルダ名に変更がなければ「次へ」をクリックする**

18 **内容を確認して「次へ」をクリックする**

19 **インストールが開始され、完了すると注意書きが表示されるので、内容をご確認の上、ウインドウ右上の「×」をクリックする**

画面に表示される内容は下図と異なる場合があります。

20 Windows® XP / Me をお使いの場合は、再起動を促すメッセージが表示されるので、「完了」をクリックしてパソコンを再起動する

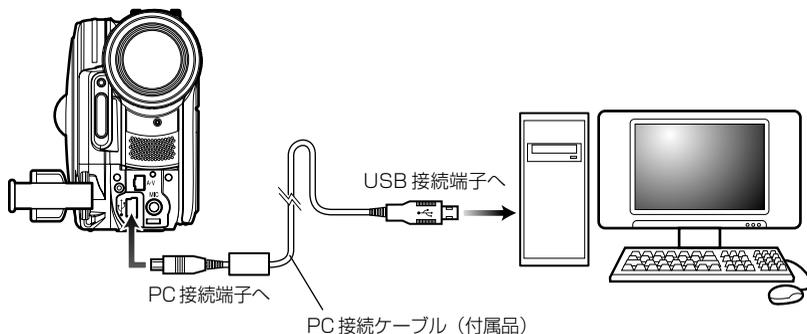
以上で UDF ドライバのインストールが完了です。
Windows® 2000 Professional をお使いの場合は 21 へ進んでください。

21 Windows® 2000 Professionalをお使いの場合は、デバイスの検出を開始する旨のメッセージが表示されるので、「完了」ボタンをクリックしてデバイスの検出を開始する

デバイスの検出は数分かかる場合があります。デバイスの検出が完了すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。
以上でソフトウェアのインストールは完了です。

- コンピュータウィルスを検知するソフトウェアなどが常駐している場合は、そのソフトウェアを無効にしてください。

カメラをパソコンにつないで認識させる

PC 接続ケーブルでパソコンと接続する

付属の PC 接続ケーブルを使って、本機とパソコンを下の図のように接続します。

- PC 接続ケーブルから本機へは電源が供給されません。電源は AC アダプター／チャージャーをお使いください。
- パソコンと本機を接続するときは、PC接続ケーブルとACアダプター以外のケーブルやカメラアクセサリー（外付けビデオフラッシュ、外部マイクなど）は外してください。
- 本機とパソコンを接続すると、ディスク／PC接続ランプが緑色に点灯します。また、ディスクにアクセスしている間は、オレンジ色に点灯または点滅します。SDメモリーカードにアクセスしている間はカードアクセスランプが赤色に点灯または点滅します。
- 本機は、パソコン側のUSB端子がUSB1.1の場合でも接続できます。その場合、データの転送速度はUSB2.0端子に接続した場合より遅くなるため、再生時にコマ落ちが発生したり、処理に時間がかかる場合があります。
- P.169 の「パソコンと接続するときの注意事項」をお読みください。

本機は電源スイッチを「」または「」に合わせた場合のディスクモードと、電源スイッチを「」に合わせた場合のカードモードという二つのモードがあります。

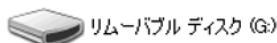
本機はWindows® XP/2000/MeのOS標準のドライバで動作します。本機とパソコンをPC接続ケーブルで接続すると、自動的にパソコンから本機が認識されます。認識後、パソコンの再起動を要求されることがあります。そのときは指示に従い、再起動してください。

本機をパソコンに接続すると、ドライブとして認識されます。Windows 上でのドライブの表示のされ方は、以下のようになります。

[Windows® XP の場合]

本機の電源スイッチを「」または「」に合わせてパソコンと接続した場合、光ディスクドライブとして認識され、本機にセットされているディスクにアクセスできます（アイコンの形状や、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

DVD-RAM DVD_CAMERA (G:)

本機の電源スイッチを「」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされている SD メモリーカードにアクセスできます（G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

リムーバブル ディスク (G:)

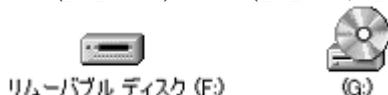
[Windows® Me / 2000 Professional の場合]

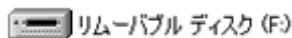
本機の電源スイッチを「」または「」に合わせてパソコンと接続した場合、2 つのドライブとして認識されます。本機に DVD-RAM がセットされている場合は、リムーバブルディスク側のアイコンからアクセスできます。本機に DVD-RW ／ DVD-R がセットされている場合は、光ディスクドライブ側のアイコンからアクセスできます（アイコンの形状や、F:、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります。また 2 つのドライブの順番は図と逆になる場合があります）。

（DVD-RAM）

リムーバブル ディスク (F:)

（DVD-RW ／ DVD-R）

(G:)

本機の電源スイッチを「」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされている SD メモリーカードにアクセスできます（アイコンの形状や、F:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

リムーバブル ディスク (F:)

- ディスクに記録されている動画ファイルは、エクスプローラから操作しないでください。DVD-MovieAlbumSE または DVD-MovieAlbum コピーツールをお使いください。また、DVD-RAM に記録された静止画は、パソコンで削除しないでください。
- ディスクとカードを同時にアクセスすることはできません。
- Windows® Me／2000 Professionalのパソコンと接続中に本機の電源スイッチを切り替える場合は、P.174 の手順に従ってください。

パソコンと接続するときの注意事項

パソコンと本機を接続する場合､電源はACアダプター／チャージャーをご利用ください
バッテリーでもご使用できますが､転送中に本機の電源が切れると､お客様の貴重な録画内容が失われたり､ディスクに書き込み中の場合は､そのディスクが使用できなくなります。

パソコンから本機のディスクにアクセス中はケーブル類の抜き差しはしないでください
・ アクセス／PC接続ランプや、カードアクセスランプが点滅しているときにPC接続ケーブル（同梱）や電源コードを抜き差しすると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となり、ディスクに書き込み中の場合は、そのディスクが使用できなくなります。

パソコンと本機を接続するときは、PC接続ケーブルとACアダプター以外のケーブルやカメラアクセサリー（外付けビデオフラッシュ、外部マイクなど）は外してください。

パソコンと本機を接続しての動作は、約30℃以下の環境で約30分を目安に行なってください
・ DVD-MovieAlbumSEに付属のDVD-MovieAlbumコピーツールを利用しての書き込みは、連続使用で30分以下を目安に行なってください。
・ 本機が高温になると､本機側での読み取りや書き込みに支障が出る場合があります。特にDVD-Rに書き込み中にエラーが発生しますと、そのディスクは使用できなくなります。
本機が高温にならないよう、ご注意ください。

本機で設定したフェード設定、スキップ設定およびサムネイルは、DVD-MovieAlbumSEには反映されません。また、DVD-MovieAlbumコピーツールでもコピーされません

DVD-MovieAlbumSEでプログラムのプロテクトを設定したDVD-RAMは、本機ではプロテクト解除できません。プログラムのプロテクトの解除にはDVD-MovieAlbumSEをご使用ください

USBハブを経由した接続や､パソコンのフロントパネルやキーボードにあるUSB端子に本機を接続した場合､パソコンから本機が認識されないなどの現象が発生することがあります。このようなときは、パソコンのリアパネルのUSB端子に接続してご使用ください

本機の電源が「切」のときは、パソコンへは接続できません。

接続したまま、パソコンをサスペンド（☞ P.200「用語解説」）状態にしたときにパソコンと接続する場合、一度PC接続ケーブルを抜いて差し直す必要があります

DVD-MovieAlbumSEの静止画モードでDVD-RAMに静止画を追加した場合、追加した静止画は本機では再生できません。

パソコンと接続中は本機で次の操作はできません

- 本機の操作ボタンによるカメラの操作
- 本機のディスク取り出しボタンでのディスクの取り出し
- 電源スイッチによる電源切

本機に入っているディスクはパソコンの操作で取り出すことができます

- 本機の電源を切ったり接続を外したりしなくても、ディスクやSDメモリーカードを入れ替えることができます。

●ディスクを取り出す場合

Windows® のエクスプローラで、本機のドライブアイコンを選ぶ
→ マウスの右ボタンをクリックする
→ [取り出し]を選ぶ
→ 本機のディスク挿入部のふたが開きます。
別のディスクを入れて閉じると、ディスクの認識をします。

● SD メモリーカードを取り出す場合

SDメモリーカードがパソコンのソフトウェアからアクセスされていないことを確認し、更に本機のカードアクセスランプ（☞ P.50）が点灯または点滅していないことを確認して、SD メモリーカードを本機より取り出します。
SDメモリーカードにパソコンからファイルの書き込みを行なったあとは、しばらくの間、カードアクセスランプが点灯または点滅していることがありますので、カードアクセスランプが消灯するまでお待ちください。最大数分間かかる場合があります。

動画ファイルについて

動画ファイルはディスクの傷や汚れ、記録再生環境などにより、読み出しエラーが生じ、コピーができないことがあります。DVD-RAM／DVD-RW（VR モード）の動画ファイルをパソコンから操作する場合は、DVD-MovieAlbumSE または DVD-MovieAlbum コピーツールをお使いください（☞ P.175）。なお、エラーが生じた部分で、ブロックノイズや画面の一時停止、音声途切れ、音声ノイズ、音声ずれが発生することがあります。

パソコンで表示されるフォルダについて

USB ドライバをインストールしたパソコンに本機を接続すると、本機はパソコンの外付けドライブとして認識されます。

お使いになっているディスクやカードにより、次ページのようなフォルダが表示されます。
静止画（ＪＰＥＧ）を活用するアプリケーションソフトをご使用のときは、[100*HPNX1]フォルダ内のファイルを使用してください。静止画（JPEG）は、エクスプローラを使ってパソコンのハードディスクにコピーすることができます。

● DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）をお使いの場合

「DCIM」→「100*HPNX1」フォルダ：JPEG 形式の静止画（HPNX0001.JPG など）が記録されています。JPEG 画像対応の画像ソフトで開くことができます。DVD-RW にはありません。

「DVD_RTAV」フォルダ：DVD ビデオレコーディング（DVD-VR）形式の動画が記録されています。

「RTR_EXTN」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。

ご注意
- DVD_RTAV、RTR_EXTNはパソコンのエクスプローラでは、絶対に削除や移動、フォルダ名などの変更をしないでください。

● DVD-RW（VF モード）／ DVD-R をお使いの場合

パソコンで再生する場合は、ファイナライズしたディスクをお使いください。ファイナライズしていないディスクは、認識できません。

「DVDCAM」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。

「VIDEO_TS」フォルダ：DVD ビデオ形式の動画が記録されています。

● SD メモリーカードをお使いの場合

「DCIM」→「100*HPNX1」フォルダ：JPEG 形式の静止画（HPNX0001.JPG など）が記録されています。JPEG 画像対応の画像ソフトで開くことができます。

＊ 他の DCF 対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。

- 元のディスクやカードは、バックアップとして大事に保管しておいてください。
- 本機をパソコンの USB1.1 端子に接続した場合、データの転送速度は USB2.0 端子に接続した場合より遅くなります。
- 8cmDVD-RAMの出荷時のボリューム名は、ディスクメーカー固有の表示となっています。本機で初期化した場合のボリューム名はパソコン上で"Dvd_camera"と表示されます（P.171のエクスプローラの画面に表示されているボリューム名は一例です。変更になることがあります）。

記録した静止画を活用する

DVD-RAMやSDメモリーカードの[DCIM]－[100*HPNX1]フォルダ内に記録されているJPEG ファイルをご使用ください。
画像サイズ：1,600 × 1,200 画素 **
JPEG 画像に対応したアプリケーションでお楽しみください。

＊　他の DCF 対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。
＊＊ 外部入力で記録した静止画（JPEG）の画像サイズは、640 × 480 画素になります。

パソコンで動画を見る

● DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）をお使いの場合

動画はDVD ビデオレコーディング（DVD-VR）規格（☞ P.199「用語解説」）に準じて記録されています。
再生する場合は、同梱のCD-ROM に納められている「DVD-MovieAlbumSE」か、市販のDVD ビデオレコーディング（DVD-VR）規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

● DVD-RW（VF モード）／DVD-R をお使いの場合

動画は DVD ビデオ規格（☞ P.199「用語解説」）に準じて記録されています。
再生する場合は、DVD ビデオ規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

パソコンで編集する

同梱のCD-ROMに納められている「DVD-MovieAlbumSE」を使うと、パソコンで動画の編集ができます。また「DVDfunSTUDIO」を使うと、編集した画像をDVDビデオにすることができます。インストール方法はP.162をご覧ください。

パソコン内蔵の DVD ドライブでディスクを使用する

使用するディスクに合ったドライブの付いたパソコンとソフトウェアをお持ちの場合は、ディスクを直接パソコンのドライブに入れて使用することができます。
DVD ドライブが対応するディスクは、DVD ドライブによって異なります。
それぞれのディスクに対応した DVD ドライブを使用してください。
ファイナライズしたDVD-RW／DVD-Rは、DVD-ROM ドライブで使用できます（読み込み専用）。

- パソコンで編集した映像を新しいDVD-RW／DVD-Rに書き込む場合は、ディスクを本機で初期化しないでください。
- 縦置きやスロットインタイプ（☞ P.200「用語解説」）のパソコン用ドライブの中には 8cm ディスクが使用できないものがあります。
- 8cm CDを12cmの直径に変換するアダプタ（8cm CD用）は8cm DVD-RAM／8cm DVD-RW／8cm DVD-R には使用できません。
- 本機で撮影したDVD-RW／DVD-Rをパソコンで利用する場合は、ディスクを本機でファイナライズしてください（☞ P.152）。
- ご使用のDVD-ROM ドライブによっては、本機で記録したDVD-RW／DVD-R が読み込めない場合があります。

ＰC接続の終了（PC 接続ケーブルの取り外し）・電源スイッチを切り替える前に

[Windows® XP の場合]

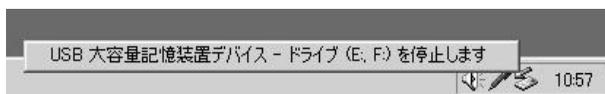
本機のアクセスランプが緑色に点灯をしていることを確認し、PC接続ケーブルを抜いてください。

[Windows® Me/2000 Professional の場合]

1 PC接続ケーブルをパソコンから抜く場合は、まず「ドライブの停止」操作を行なう

2 ドライブの停止を行なうには、まずアプリケーションを終了し、Windows 画面の右下のタスクトレイから「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックする

3 Windows® 2000 Professionalでは、「USB大容量記憶装置デバイス」を選択する

ドライブ名（E:、F:など）はお使いのパソコンにより異なります。

4 Windows® Me では、「USB CD-ROM」を選択する

ドライブ名（G:、F:など）はお使いのパソコンにより異なります。

5 「ハードウェアの取り外し」が可能である旨のメッセージが表示される

PC 接続ケーブルを抜いてください。

＊「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう場合は、Windows® を一旦終了してから取り外してください。Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、Windows® 2000 サービスパック３以降をインストールすると解決される場合があります。Windows® 2000 サービスパック３の入手方法につきましては、お使いのパソコンの製造元、またはマイクロソフト社にお問い合わせください。

DVD-MovieAlbumSE、DVDfunSTUDIO の使いかた

ここでは、基本的な操作の説明をします。
詳細につきましては、それぞれの取扱説明書 * をご覧ください。

＊ 取扱説明書 .... ソフトウェアをインストールしたときに一緒にインストールされます。
DVD-MovieAlbumSEは[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[Hitachi DVDCAM]→[DVD-MovieAlbumSE]→[取扱説明書]をご覧ください。
DVDfunSTUDIOは[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[Hitachi DVDCAM]→[DVDfunSTUDIO]→[取扱説明書]をご覧ください。

取扱説明書を開くには、Adobe® Acrobat Reader が必要です。
Acrobat Readerは、同梱のCD-ROM「Acrobat Reader」フォルダに入っています（☞ P.159）。
編集した DVD-RAM ディスクの映像ファイルを使用して DVD ビデオを作成します。

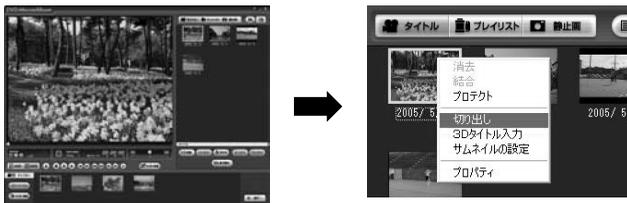
- DVD-MovieAlbumSEおよびDVDfunSTUDIOの初回起動時には、ソフトウェアの使用許諾書が表示されます。よくお読みいただき、同意いただく場合は「同意します」をクリックしてください。

カメラで撮影したDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）からDVDビデオ（DVD-RW／DVD-R）を作成するには

本機で撮影した映像をDVD-MovieAlbumSEとDVDfunSTUDIOを使って、DVDビデオ(DVD-RW（VF モード）／DVD-R)を作成することができます。

1 DVDビデオ（DVD-RW（VFモード）／DVD-R）にしたい映像が記録されたDVD-RAM／DVD-RW（VR モード）を本機に入れ、パソコンに USB 接続する

2 DVD-MovieAlbumSE を起動する
DVD-RAM／DVD-RW（VR モード）に記録されている内容が表示されます。
DVD-RAMの場合は、この画面で、シーンのカットや並び替え、プレイリストの作成ができます。
DVD-RW（VR モード）の場合は、映像の再生はできますが、シーンのカットなどの編集はできません。あらかじめ、本機で編集してください。

➡

映像が表示されない場合は、P.179 をご覧ください。

3 **DVD-MovieAlbumSEの画面からDVDビデオにしたいプログラムのサムネイルを選択し、マウスを右クリックして「切り出し」を実行する**

4 **右図のようなプログラムの切り出し画面が表示されるので、切り出しの設定を行う**

「切り出しモード」内の「解像度」と「音声」の設定では、(推奨)表示されているものを選択してください。「出力先フォルダ名」を変更することで、切り出したファイルの保存先を変更できます。

「タイトルの切り出し」画面

ヒント

- 「オプション」の「チャプター間で分割」を選択すると、DVDビデオカメラで撮影されたプログラムの各シーンがそれぞれ独立した動画ファイルとして保存され、切り出しが高速に行われます。
  「チャプター間で分割」を選択しないと、動画ファイルは1本に結合され、再エンコードされることがあるため切り出しに時間がかかることがあります。
  また、XTRAモードで記録された動画で、動きの激しいシーンについては「チャプター間で分割」の選択に関わらず、自動的に再エンコードされ、切り出しに時間がかかることがあります。
- 本機のディスクナビゲーションでシーンの結合(☞ P.121)を行なったディスクは、再エンコードされ、切り出しに時間がかかります。
- 再エンコードが行なわれると、画質が粗くなります。

5 **「開始」ボタンをクリックする**

切り出しを開始します。

6 **切り出しが終了したら、「切り出しが正常に終了しました。切り出したデータを使って「DVD-Video」のディスクを作成しますか?」と表示されるので、「使用中のディスクを取り出す」チェックボックスをチェックして、「はい」をクリックする**

7 **ディスク挿入部のふたが開きますのでディスクを取り出し、未記録のDVD-RW／DVD-Rを挿入して、ディスク挿入部のふたを閉じる**

DVD-MovieAlbumSEが自動的に終了し「ディスクへの書き出し」画面が表示されるので、その場合は「開始」ボタンをクリックしてください。

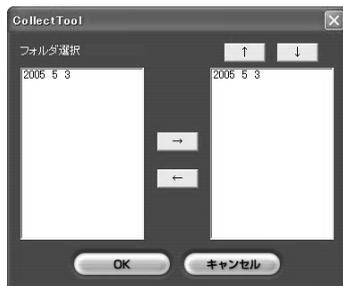
記録済のDVD-RWでも、DVDfunSTUDIOでDVD-RWの消去(☞ P.189)を行なうことで再利用できます。

8 DVDfunSTUDIOが自動的に起動し、右下のようなCollectToolが表示されるので、「OK」をクリックする

DVD-MovieAlbumSEで切り出したシーンが自動的にDVDfunSTUDIOに登録されます。DVDメニューをお好みのスタイルに変更したり、タイトルを変更したり使用するディスクのサイズ(8cm/12cm/12cm 2層)や再生方法を選択したりできます(詳細はDVDfunSTUDIOの取扱説明書をご覧ください☞160)。

DVDfunSTUDIOの編集画面

9 「書き込み」ボタンをクリックする

DVD-RW／DVD-Rへの書き込みが始まります。書き込みが終了すると、DVDビデオディスクが完成します。
そのあと、本機のディスクカバーが自動で開きます。

- 本機では、DVDfunSTUDIOで作成したメニュー画面は表示されません。
  また、書き込む内容によっては、本機では正常に再生できない場合があります。
  そのような場合は、一般的なDVDプレーヤーをお使いください。

DVDfunSTUDIOから8cm DVD-RW／DVD-Rに記録できる時間は以下の表のようになります。

本機での録画画質モード	8cm DVD-RW／DVD-Rへの記録可能時間(DVDfunSTUDIOを使用)
STD	約50分
FINE	約25分
XTRA	約18分以上

DVDfunSTUDIOで作成されるサムネイルが多い場合など、条件によっては記録可能時間が上記時間より短くなります。

ヒント

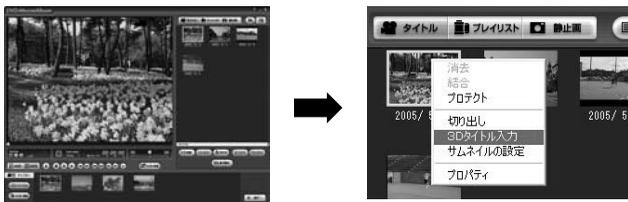
- DVDfunSTUDIOではパソコン上のMPEGファイルからDVDビデオを作成できますが、本機では再生できない場合があります。
- DVDfunSTUDIOでは本機で撮影したワイド映像をそのままワイド映像で取り扱えますが、本機のSTDモードで記録したワイド映像に関しては、再エンコードが必要になります。

3D タイトルの映像を挿入するには

本機で撮影した DVD-RAM の映像に 3D タイトルを付けることができます。

1 **編集したい DVD-RAM が入った本機をパソコンに USB 接続する**

2 **DVD-MovieAlbumSE を起動する**

DVD-RAM に記録されている内容が表示されます。
この画面で、シーンのカットや並び替え、プレイリストの作成ができます。

3 **プログラムの先頭でマウスを右クリックし、[3Dタイトル入力]を選択する**

3D タイトル作成画面（3D-Title STUDIO）が起動します。
プログラムの先頭に 3D タイトルを付けることができます。

4 **「OK」をクリックする**

設定した 3D タイトルが DVD-RAM へ書き込まれます。

ヒント

- 任意の位置に 3D タイトルを付けるには、その位置でプログラムを分割します。
- 付けた 3D タイトルは、本機では 1 シーンとして扱われます。それに続くシーンと結合する場合には、DVD-MovieAlbumSEを使って3Dタイトルに続くシーンのチャプターを削除するか、本機のディスクナビゲーション機能を使って3Dタイトルとそれに続くシーンを選択して結合してください（☞ P.121）。
- 3D タイトルを付けるには、DVD-RAM に数十秒分の空きが必要です。
- DVD-MovieAlbumSE の HDD モードでは 3D タイトル入力はできません。

● DVD-MovieAlbumSE で映像が表示されないときは

DVD-MovieAlbumSE 起動時に、DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）に録画されている内容が表示されなかったり、「ドライブ X:のディスクは DVD-MovieAlbumSE では利用できません。」と表示される場合にはDVD-MovieAlbumSEの環境設定から、DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）の入ったドライブを選択してください。

1 環境設定をクリックする。

「ドライブ X:のディスクは DVD-MovieAlbumSE では使用できません。」と表示された場合には、画面の「環境設定」を、画面に映像が何も表示されない場合には DVD-MovieAlbumSE の「環境設定」をクリックしてください。

2 「デバイス設定」の「ドライブ選択」でドライブを選択する。

右図のような「環境設定」画面が表示されるので、「デバイス設定」のタブをクリックし、その中の「ドライブ選択」のドライブ名から DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の入ったドライブを選択して「OK」をクリックしてください。

DVD-MovieAlbumSE, DVDfunSTUDIO の使いかた

複数のDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録した映像から一枚のDVDビデオ（DVD-RW／DVD-R）を作成する

複数のＤＶＤ-ＲＡＭ／ＤＶＤ-ＲＷ（ＶＲモード）に記録された映像もＤＶＤ-MovieAlbumSEの「切り出し」機能を用いることでパソコン上に映像ファイル（MPEG2ファイル）として保存できます。
DVD-MovieAlbumSEで切り出した映像ファイルは、DVDfunSTUDIOを用いてDVDビデオにできるため、複数枚のDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録した映像ファイルを、一枚のDVDビデオ（DVD-RW／DVD-R）にまとめて記録できます。

1 **DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）が入った本機をパソコンに接続する**

2 **DVD-MovieAlbumSEを起動する**

3 **DVD-MovieAlbumSEの画面からDVDビデオにしたいプログラムのサムネイルを選択し、右クリックして「切り出し」を実行する**

4 **右図のようなプログラムの切り出し画面が表示されるので、切り出しの設定を行う**
「切り出しモード」内の「解像度」と「音声」の設定では、(推奨)表示されているものを選択してください。「出力先フォルダ名」を変更することで、切り出したファイルの保存先を変更できます。

「タイトルの切り出し」画面

5 **「開始」ボタンをクリックする**

6 **切り出しが終了すると次のような画面が表示されるので、ここでは「いいえ」を選択し、「タイトルの切り出し」画面の「閉じる」をクリックする**

7 **DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）を取り出し、2枚目のDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）を入れる**

DVD-MovieAlbumSEのイジェクトボタンをクリックすると、本機のディスク挿入部のふたが開くので、ディスクを取り出します。その後、2枚目のディスクを入れてディスク挿入部のふたを閉じてください。ディスクの認識が終了するとDVD-MovieAlbumSEでディスクに記録されている内容が表示されます。

8 **3～7の作業を繰り返すことで、複数のDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録された映像をパソコン上に保存できる**

9 **DVD-MovieAlbumSEを終了する**

DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の映像ファイルの切り出しが完了したら、ディスクを取り出し、DVD-MovieAlbumSEを終了します。次に、DVDfunSTUDIOを用いて、切り出した映像ファイルをDVDビデオとしてDVD-RW／DVD-Rに記録するため、何も記録していないDVD-RW／DVD-Rを挿入してください。

10 **記録していないDVD-RW／DVD-Rを挿入し、DVDfunSTUDIOを起動する**

DVDfunSTUDIOを起動するには、Windowsの[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[Hitachi DVDCAM]→[DVDfunSTUDIO]→[DVDfunSTUDIO]を選択します。

11 **DVDfunSTUDIOに映像を登録する**

3～7の作業を繰り返すことでDVD-MovieAlbumSEでパソコン上に保存した映像は、DVDfunSTUDIOのCollectToolを使うことで、DVDfunSTUDIOに一度に登録できます。

DVDfunSTUDIOの「▼ツール」→「CollectTool」を選択すると、画面のようなCollectToolが表示され、DVD-MovieAlbumSEで映像を保存したフォルダ名が表示されます。取り込みたいフォルダを選び、[→]ボタンを押すと、取り込み予定リストに選択したフォルダが追加されます。取り込み予定リストのフォルダを選んで[↑][↓]ボタンを押すと、取り込む順番を変えられます。

また、DVDfunSTUDIOの「ファイル表示」をクリックし、表示するフォルダの選択を行うと、フォルダ内の映像ファイルが表示されます。表示された映像ファイルを右クリックし、「登録」を選択することで、DVDfunSTUDIOに映像の登録が行えます。

12 「書込み」ボタンをクリックする
DVDfunSTUDIOに映像を登録後、DVDビデオメニューのスタイルやタイトルを変更後に、「書き込み」ボタンをクリックすると、DVD-RW／DVD-Rへの書き込みが始まります。書き込みが終了すると、DVDビデオディスクが完成します。書き込み終了後は、本機のディスク挿入部のふたが自動で開きます。

複数のDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録した映像を一枚のDVD-RAMに記録する

DVD-MovieAlbumSEに付属のDVD-MovieAlbumコピーツールを用いることで、DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録した映像を、HDDを経由して他のDVD-RAMにコピーすることができます。
この機能を用いることで、複数のDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に記録した映像を一枚のDVD-RAMにまとめて記録できます。

1 DVD-MovieAlbumコピーツールを起動する
[スタート]→[プログラム]または[全てのプログラム]→[Hitachi DVDCAM]→[DVD-MovieAlbumSE]→[DVD-MovieAlbumコピーツール]を実行します。
DVD-MovieAlbumコピーツールを実行すると次のような画面が表示されます。まず、DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の内容をHDDにコピーしますので、「DVD-RAM→HDD」のタブを選択します。

2 DVD-RAM→HDDコピーの設定を行う
コピー元のドライブ（DVD-RAMドライブ）とコピー先（HDDフォルダ）を選択します。
次に、「タイトル選択」をクリックし、コピーするタイトルを選択します。

3 「開始」をクリックする
コピー開始の確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。
コピーが開始されます。

4 DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）を交換する
コピー終了後、ウィンドウの左下にあるディスクイジェクトボタンをクリックするとディスク挿入部のふたが開きディスクを取り出せます。
引き続きDVD-RAM→HDDコピーを行うときには、コピー元のDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）を挿入して、ディスク挿入部のふたを閉じた後に「情報更新」をクリックし、引き続き2、3の操作を行うことでHDDにディスクの内容をコピーできます。

5 HDD→DVD-RAMコピーの設定を行う

「HDD→DVD-RAM」のタブを選択します。次に、コピー元（HDDフォルダ）とコピー先（DVDドライブ）を選択します。
最後に、「新規コピー」を行うか「追加コピー」を行うかの設定をします。
新規コピー：コピー先のDVD-RAMの内容が全て消去され、新たにコピーされます。
追加コピー：コピー先のDVD-RAMに記録されているビデオレコーディングデータの最後にコピーするデータが追記されます。

6 「開始」をクリックする

コピー開始の確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。
「新規コピー」を選んだ場合、DVD-RAMのビデオレコーディングデータを削除するかの確認メッセージが表示されます。データを削除する場合は、「はい」をクリックします。コピーが開始されます。

7 コピー完了

コピー完了後、コピー元のHDDにあるビデオレコーディングデータを削除するかの確認メッセージが表示されます。削除する場合は「はい」を削除しない場合は「いいえ」をクリックしてください。

- DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）全体をコピーする際に、DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）内にDCF規格のフォルダおよびファイルなどが存在していた場合には、ビデオレコーディング規格のデータのコピーの後にそれらのデータもHDDにコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。HDDにJPEGファイル等をコピーする際には「はい」を選択してください。

  ※DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）上に記録されているすべてのファイルがHDD上にコピーされるわけではありませんのでご注意ください。

- 2の「タイトル選択」で、「ディスク全体」を選択しなかった場合、プレイリストの情報およびHDD内にコピーされたDCF規格のJPEGファイルなどはコピーされません。
- 2のコピー先（HDDフォルダ）の選択で、HDDフォルダ内にすでにDVD_RTAVフォルダが存在する場合、そのフォルダにはコピーできません。別のフォルダを選択してください。
- 5のHDD→DVD-RAMコピーの設定において、「追加コピー」を選択すると、プレイリストの情報およびHDD内にコピーされたDCF規格のJPEGファイルなどはコピーされません。

DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の映像をパソコンに取り込むには

DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）に撮影した映像をパソコンのハードディスク（HDD）に取り込むことができます。
取り込み方法には以下の2通りがあります。

DVD-VR形式で取り込む

DVD-MovieAlbumSEのHDDモードでの再生・簡易編集やDVD-MovieAlbum コピーツールを使って別のDVD-RAMディスクにコピーすることができます。

MPEG2ファイル形式で取り込む

MPEG2ファイル形式で取り込んだファイルを使用してDVDfunSTUDIOでDVD-Videoを作成したり、市販のMPEG2ファイル対応のソフトウェアでご活用いただけます(本機に付属しているDVD-MovieAlbumSEではMPEG2ファイルの再生･編集は行えません)。

● DVD-VR形式で取り込むには

1 **DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）が入った本機をパソコンに接続する**

2 **DVD-MovieAlbum コピーツールを起動する**

[スタート]→[プログラム]または[全てのプログラム]→[Hitachi DVDCAM]→[DVD-MovieAlbumSE]→[DVD-MovieAlbum コピーツール]を実行します。
DVD-MovieAlbumコピーツールを実行すると次のような画面が表示されます。まず、DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の内容をHDDにコピーしますので、「DVD-RAM→HDD」のタブを選択します。

3 **DVD-RAM →HDD コピーの設定を行う**

コピー元のドライブ(DVD-RAMドライブ)とコピー先(HDDフォルダ)を選択します。
次に、「タイトル選択」をクリックし、コピーするタイトルを選択します。

4 **「開始」をクリックする**

コピー先のフォルダ内にはDVD_RTAVというフォルダが作成されます。
DVD-VR形式で取り込んだ後は、DVD-MovieAlbumSEのHDDモードでの再生・簡易編集(☞ P.187「DVD-MovieAlbumSEのHDDモードについて」を参照)やDVD-MovieAlbum コピーツールを使って別のDVD-RAMにコピーすることができます(☞ P.182「複数のDVD-RAMに記録した映像を一枚のDVD-RAMに記録する」の5以降を参照)。

- パソコンにコピーされたDVD-VR形式のデータはDVD_RTAVというフォルダに保存されます。エクスプローラなどでDVD_RTAVフォルダ内のファイルを削除、変更すると、DVD-MovieAlbumSEで使用できなくなります。
- 3の「タイトル選択」で、「ディスク全体」を選択しなかった場合、プレイリストの情報およびHDD内にコピーされたDCF規格のJPEGファイルなどはコピーされません。
- 3のコピー先(HDDフォルダ)の選択で、HDDフォルダ内にすでにDVD_RTAVフォルダが存在する場合、そのフォルダにはコピーできません。別のフォルダを選択してください。
- DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）全体をコピーする際に、DVD-RAMディスク内にDCF規格のフォルダおよびファイルなどが存在していた場合には、ビデオレコーディング規格のデータのコピーの後にそれらのデータもHDDにコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。HDDにJPEGファイル等をコピーする際には「はい」を選択してください。

  ※DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）上に記録されているすべてのファイルがHDD上にコピーされるわけではありませんのでご注意ください。

● MPEG2 ファイル形式で取り込むには

1 DVD-RAM／DVD-RW（VR モード）が入った本機をパソコンに接続する

2 DVD-MovieAlbumSE を起動する

3 DVD-MovieAlbumSEの画面からDVDビデオにしたいプログラムのサムネイルを選択し、右クリックして「切り出し」を実行する

4 右図のようなプログラムの切り出し画面が表示されるので、切り出しの設定を行う

「切り出しモード」内の「解像度」と「音声」の設定では、(推奨)表示されているもの以外を選ぶと、取り込みに時間がかかります。
「出力先フォルダ名」を変更することで、切り出したファイルの保存先を変更できます。

クリック

「タイトルの切り出し」画面

5 「開始」ボタンをクリックする

6 切り出しが終了すると次のような画面が表示されるので、ここでは「いいえ」を選択し、「タイトルの切り出し」画面の「閉じる」をクリックする

手順**4**の「タイトルの切り出し」画面で指定した出力先フォルダにMPEG2ファイルが保存されます。

クリック

- 本機で撮影したワイド映像の切り出しを行った場合、映像は４：３の縦に長い状態で切り出されます。DVDfunSTUDIO で使用するときには 16：９のワイド映像として表示されます。

DVD-MovieAlbumSE の HDD モードについて

DVD-MovieAlbumSE には、DVD-MovieAlbum コピーツールで HDD 上に取り込んだ DVD-VR 形式のデータの再生・簡易編集を行える HDD モードがあります。

1 DVD-MovieAlbumSE を起動し、[HDD] ボタンをクリックする。

2 表示する VR 形式のデータを含んだ HDD 内のフォルダを選択する

初回起動時にはHDDボタンを押すと自動的にHDDフォルダ選択画面が表示されます。

HDD フォルダを選択後も、[フォルダ] ボタンを押すことで、フォルダ選択画面を表示し、[フォルダ登録] ボタンを押すことで別のフォルダを選択できます。

HDD モードでは、チャプター作成・タイトル分割、映像切り出しなどの簡易編集や再生が可能です。DVD モードで使用できる以下の機能はご使用になれません。

・パソコン上の映像ファイルの取り込み
・タイトル消去および全消去
・3D タイトル入力
・タイトルのチャプター消去
・静止画モードでのファイル消去および追加(フォルダ消去および追加)
・DV キャプチャー

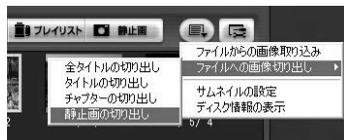
動画の 1 シーンを静止画として取り出すには

DVD-MovieAlbumSE では DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）に撮影した映像の 1 シーンを静止画として取り出すことができます。
取り出した静止画は市販の画像編集ソフトウェアなどで印刷·活用することができます。

1 DVD-MovieAlbumSE で静止画にしたい場面を表示させる

DVD-MovieAlbumSE で撮影した DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）の動画シーンを再生して、静止画にしたい場面で一時停止ボタンを押します。

2 補助機能ボタンをクリックし、「ファイルへの画像切り出し」→「静止画の切り出し」をクリックする

「静止画の切り出し」画面が表示され、画面に選んだ静止画が表示されます。ボタンをクリックすることで切り出す画像の位置を微調整できます。

3 ファイルを切り出すフォルダ名とファイル名を入力する

「静止画の切り出し」画面内の「出力ファイル名」に、出力先のフォルダ名とファイル名を入力してください。ファイル名は初期値では bitmap.bmp となっていますので、bitmap の部分をファイル名として変更してください。同じファイル名の画像を切り出すと上書き保存されますので、複数の画像を切り出す場合には必ずファイル名を入力してください。

4 「開始」ボタンをクリックする。

切り出し終了後にメッセージが表示されます。

● DVD-RW ／ DVD-R を取込んで編集するには

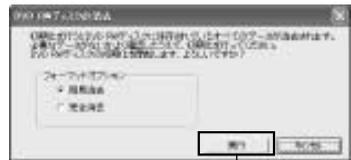
本機に同梱のソフトウェアでは、DVD-RW ／ DVD-R に記録した映像を編集することはできません。DVD-RW ／ DVD-R に記録した映像を編集される場合は、ユーリードシステムズ社の VideoStudio9、DVD Movie Writer4 等の市販のソフトウェアをご使用ください（☞ P.192）。

記録済みの DVD-RW を再利用するには

DVDfunSTUDIO で DVD-RW ディスクの消去を行なえば、記録済みの DVD-RW を再利用できます。

1 DVDfunSTUDIO の「▼ツール」→「ＤＶＤ－ＲＷディスクの消去」を選択する

2 下記の画面が表示されるので、簡易消去もしくは完全消去のいずれかを選択し、「実行」をクリックする

ＤＶＤ－ＲＷの消去が開始されます。

簡易消去：約 1 分で消去できます(目次情報のみ削除されます)。
完全消去：消去時間は最大で約 1 時間かかります(全体が消去されます)。
消去時間はドライブの速度やメディアによって異なります。

- 本操作を行なうと、DVD-RWディスクに記録されているデータが全て消去されます。必要なデータがないかよく確認した上で、消去を行なってください。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンにインストールした同梱のソフトウェアをアンインストール（削除）する場合は、「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開き、表示されたアプリケーション一覧から該当項目を選択して「変更/削除」ボタンをクリックしてください。

- ソフトウェアをアンインストールしたときは、必ずパソコンを再起動させてください。

本機とパソコンを接続してお使いになる際のご注意

- Windows® アプリケーションから本機で撮影した、DVD-RW ／ DVD-R のファイナライズを行なわないでください。ディスクが使えなくなります。
- Windows® からDVD-RAMのフォーマットを行なう場合は、UDF2.01（選択できなければ2.0）フォーマット（☞ P.199「用語解説」）で行なってください。他の規格でフォーマットすると、本機の誤動作の原因になります。
- 静止画を加工、編集する場合は、「100HPNX1 フォルダ」の JPEG ファイルをパソコンのハードディスクにコピーしてから行なってください。
- パソコンから本機のDVD-RAM内に一般のパソコンのデータを書き込むことができますが、動作保証はいたしません。
- 本機に付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータを読み書きできることがありますが、動作保証はいたしません。
- 本機をパソコンに接続したままパソコンをサスペンド（☞ P.200「用語解説」）（またはスリープやスタンバイ）から起動した場合は、本機を認識できないことがあります。この場合は一度パソコンとの接続を外し、パソコンを再起動させてください。
- パソコンに 2 台以上の DVD ビデオカメラを同時に接続することはできません。

同梱ソフトウェアの互換性について

本機の同梱のソフトウェアをDVDビデオカメラの以前のモデルでご使用になる場合の互換性は以下の通りです。なお、本機に同梱のソフトウェアはオプションキット等で別売されておりません。

<table>
<tr><td>本機に
同梱の
ソフトウェア</td><td>DZ-MV100
（2000年発売）</td><td>DZ-MV250
（2002年発売）</td><td>DZ-MV270
（2002年発売）</td><td>DZ-MV350/380、
DZ-M5000V5/
M7000V5
（2003年発売）
DZ-MV550/580、
DZ-M8000V6
（2004年発売）</td><td>DZ-GX20/
DZ-MV780/
DZ-MV730</td></tr>
<tr><td rowspan="2">USB
ドライバ</td><td colspan="2">本機にはUSBドライバは同梱されておりません。</td><td colspan="3" rowspan="2">本機にはUSBドライバは同梱されておりませんので、上記の製品に同梱のドライバをご使用ください。</td></tr>
<tr><td>ＰＣ接続キットDZ-WINPC1またDZWINPC2に同梱のＵＳＢドライバをご使用ください。</td><td>ＰＣ編集キットDZ-WINPC3に同梱のＵＳＢドライバをご使用ください。</td></tr>
<tr><td>UDF
ドライバ
（DVD-RAM
ドライバ）</td><td>読み込み専用として利用可能です。書き込みは動作保証外となります。</td><td colspan="2">DVDビデオレコーディングデータ以外のデータの読み書きに利用できますが、一部制限がございます（注1）。</td><td colspan="2">使用できます。</td></tr>
<tr><td>DVD-MovieAlbumSE</td><td colspan="3">DVDビデオレコーディング（DVD-VR）規格DVD-RAMの再生のみ可能です。
書き込みはできません。
3D-TitleSTUDIOはご利用になれません。</td><td colspan="2">使用できます。</td></tr>
<tr><td>DVDfunSTUDIO</td><td>使用できません。</td><td colspan="3">動作保証外になります。</td><td>使用できます。</td></tr>
</table>

注１： DVD-RAMカートリッジのライトプロテクトタブを「消去不可（PROTECT）」の状態にして、Windows® Meから、USB接続したDZ-MV100/DZ-MV250/DZ-MV270へ書き込みやフォーマットを行なっても、エラーは表示されず、作業が完了したように見えますが、実際の書き込みやフォーマットは行なわれていません。

上記情報は2005年6月現在の情報です。内容は予告なく変更されることがあります。

●以前のPC接続キット/PC編集キットとの互換性について

静止画用ＰＣ接続キットDZ-WINPC1、動画用ＰＣ接続キットDZ-WINPC2、DZ-WINPC2BはDVDビデオカメラDZ-MV100専用です。本機での動作保証はいたしません。

ＰＣ編集キットDZ-WINPC3は、DVDビデオカメラDZ-MV250/DZ-MV270専用です。本機での動作保証はいたしません。

市販の動画編集ソフトウェアのご紹介

本機で撮影した映像をパソコンで編集するための市販のソフトウェアをご紹介いたします。このページの製品情報はご参考情報であり、弊社では以下の各製品の動作保証およびサポートはいたしません。各製品の仕様・動作環境についてのお問い合わせは各ソフトウェアのお問い合わせ先にお願いいたします。

● Windows 用

サイバーリンク株式会社
「PowerProducer3」
製品情報　http://www.transdigital.co.jp/products/powerproducer/index.htm
本機で撮影した DVD-RAM ／ DVD-RW ／ DVD-R を取り込み、編集することができます。

お問い合わせ先
サイバーリンク・インフォメーションセンター
TEL　03-3662-8102
FAX　03-3662-8009
（平日のみ 受付時間　10:00 ～ 13:00
14:00 ～ 18:00）

ユーリードシステムズ株式会社
「Ulead VideoStudio9」
製品情報　http://www.ulead.co.jp/product/videostudio/
「Ulead DVD MovieWriter4」
製品情報　http://www.ulead.co.jp/product/dvdmoviewriter/
本機で撮影したDVD-RAM／DVD-RW／DVD-R を取り込み、編集することができます。

お問い合わせ先
ユーリードサポートセンター
TEL　03-5491-5662
FAX　03-5491-5663
受付時間　10:00 ～ 12:00
13:00 ～ 17:00
（年末年始、土日祝、ユーリードシステムズ社指定休日は除く）

● Mac 用

株式会社ピクセラ
「Pixe VRF Browser EX」
製品情報　http://www.pixela.co.jp/products/application/pixe_vrf_browser_ex/index.html
本機で撮影した DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）を Mac に取り込み、編集することができます(DVD-R の取り込みはできません)。

お問い合わせ先　株式会社 ピクセラ　ユーザーサポートセンター
TEL 06-6633-2990　FAX 06-6633-2992
受付時間　10:00 ～ 13:00、14:00 ～ 17:00
（年末年始、土日祝、ピクセラ社指定休日は除く）

- 本機は Mac に USB 接続できません。本機で撮影したディスクを Mac で使用する際には、上記のピクセラ社のDVD-Multi(またはDVD-RAM)ドライブのご使用をお勧めします。
- 上記の各種ソフトウェアを使用して書き出された DVD-RAM ／ DVD-RW ／ DVD-R は、本機では再生できない場合があります。その場合は市販の DVD レコーダー、DVD プレイヤー、パソコンなどでお楽しみください。
- このページの情報は2005年6月現在の情報です。各社の製品名や仕様は変更される場合があります。最新情報は各社の Web ページなどでご確認ください。

別売品の紹介

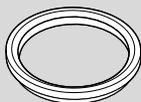
●カメラアクセサリー

ワイドコンバージョンレンズ
（DZ-WL1）*

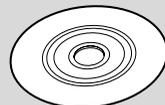
テレコンバージョンレンズ
（DZ-TL1）*

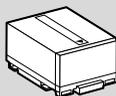
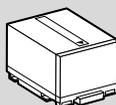
＊：　ワイドコンバージョンレンズ、テレコンバージョンレンズを本機に取り付ける際は、ステップアップリングが必要です。レンズ部先端のレンズフードを外してから取り付けてください（☞P.63）。

ビデオフラッシュ
（DZ-FLH3）

ステップアップリング
（DZ-SR3437）

・カメラアクセサリーをご使用になるときは、各アクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

●ディスク（日立マクセル製）

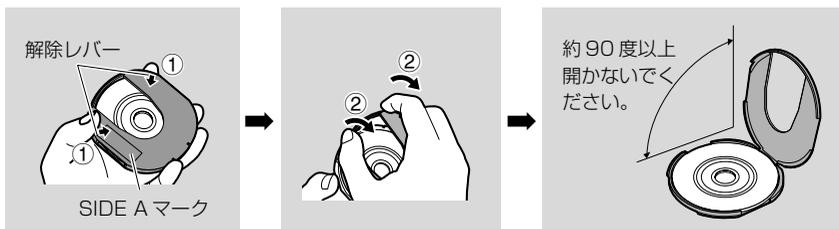
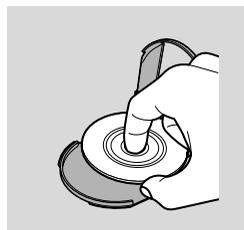
8cm DVD-RAM 片面ディスク（DRM30HG.1P）
8cm DVD-RW 片面ディスク（DRW30HG.1P）
8cm DVD-R 片面ディスク（DR30HG.1P）
8cm DVD-RAM 両面ディスク（DRM60HG.1P）*
8cm DVD-RW 両面ディスク（DRW60HG.1P）*
8cm DVD-R 両面ディスク（DR60HG.1P）*
*：両面ディスクは汚れや傷がつきやすいので、十分に注意してください。

●電　源

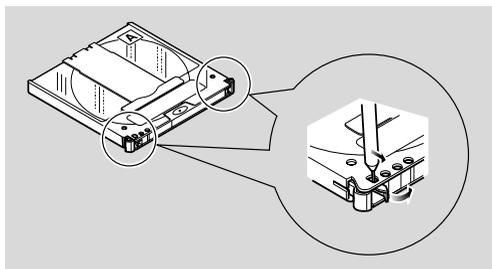
バッテリーパック
（DZ-BP14SJ）
7.2V ／ 1360mAh

バッテリーパック
（DZ-BP21SJ）
7.2V ／ 2040mAh

ディスクの取り出しかた

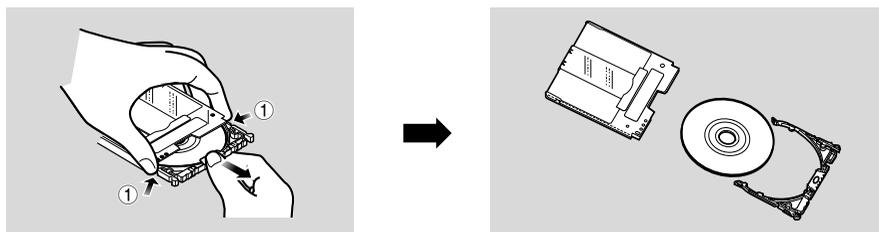
本機では丸型ホルダー、および角型のカートリッジやキャディケースに入ったディスクをそのままお使いになることはできません。ホルダー、カートリッジ、キャディケースからディスクを取り出してお使いください。取り出しかたはディスクメーカにより異なることがありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。ここでは、日立マクセル製のディスクについて説明します。

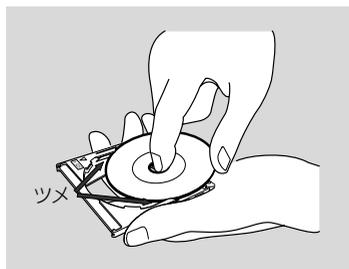
丸型ホルダーからディスクを取り出す

1 **SIDE A を上向きにし、左右 2 箇所の解除レバーを矢印 ① の方向に押しながら、丸型ホルダーの SIDE A を矢印 ② の方向に開ける**

このとき、ディスクを落とさないよう、ゆっくり開けてください。

2 **記録面に手を触れないように、ディスクの端と中心穴をつまみディスクを取り出す**

カートリッジからディスクを取り出す

1 先の細いペンなどでロックピンを折り、取り除く

2 ホルダーの解除レバーを矢印１の方向に押しながら、ホルダーをディスクごと引き出す

このとき、ディスクを落とさないよう、ゆっくり引き出してください。

キャディケースからディスクを取り出す

1 記録面に手を触れないようにディスクの中心穴に指を入れ、ツメに引っかからないように、ディスクをななめ上へスライドさせるように取る

お手入れのしかた

本機のお手入れをするときは、必ず電源を切ってください。

液晶モニターやカメラ部のレンズの汚れは

乾いた柔らかい布などでふき取ってください。液晶モニターをふくときには、強く押したり、ひっかいたり、衝撃を与えないようご注意ください。傷ができたり、表示ムラができることがあります。液晶モニターが壊れるおそれもあります。

本体ケースをベンジンやシンナーでふかない

本体ケースの塗装がはげたり、変色することがあります。本体ケースの汚れは、固く絞った布などでふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

ビューファインダーのレンズにゴミが付着したときは

綿棒などでふき取ってください。強くこすると傷ができるおそれがあります。

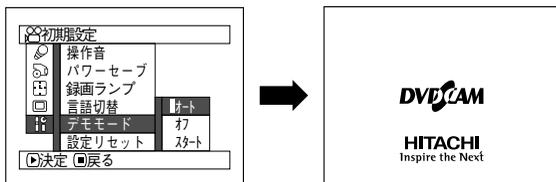
デモンストレーションの設定を変える

本機にはデモンストレーション機能が搭載されています。
お買い上げ時は「オート」に設定されていて、本機の電源を入れると約３分後に自動的にデモンストレーションが始まります。
デモンストレーションをすぐに見たいときや、設定を「オフ」にしたいときは、下記の手順で設定を変えてください。

1 「メニュー」ボタンを押す

2 「初期設定」→「デモモード」を選び、決定する

3 ⏮／⏭ で設定したい項目を選び、決定する

オート　：電源を入れると約３分後にデモンストレーションが始まります。
オフ　　：デモンストレーションの設定を「オフ」にします。
スタート：デモンストレーションがすぐに始まります。
「メニュー」ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。
途中でやめる場合は ■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。
電源を切ったり、「ディスク取出し」ボタンを押してもデモモードは終了します。

- デモンストレーション中に、「ディスクナビゲーション」ボタンを押しても終了し、ディスクナビゲーションの画面が表示されます（☞ P.113）。
- デモンストレーション中は、録画ランプが点滅します。

ご注意
- パソコンと接続しているときは、デモンストレーション機能は働きません。
- 「オート」に設定していても、本機の電源スイッチが「🎥」または「📷」でディスクが入っている場合や「カード」でカードが入っている場合もデモンストレーションは始まりません。

海外で使うとき

本機は海外でもお使いいただけます。付属のACアダプター／チャージャーはAC100～240V・50／60Hzの電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、コンセントの形状に合った市販の変換プラグアダプターをお求めのうえ、お使いください。各国のコンセントの形状については、旅行代理店などでおたずねください。

●コンセントの形状と変換プラグの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状	主に北米・南米・グアム・サイパン		イギリスなど	主にヨーロッパ	主に オーストラリア
変換プラグ	不要です。そのままコンセントに差し込んでください。				

●テレビについて

再生映像をテレビに接続してご覧になる際は、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）で、映像・音声入力端子付きのテレビであれば、付属のAV／S入出力ケーブルを使って見ることができます。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）を採用している国または地域（五十音順）

・アメリカ合衆国　・エクアドル　・エルサルバドル　・カナダ
・キューバ　・グアテマラ　・グアム　・コスタリカ
・コロンビア　・スリナム　・大韓民国　・台湾
・チリ　・ドミニカ　・トリニダードトバゴ　・ニカラグア
・ハイチ　・バハマ　・バミューダ　・バルバドス
・パナマ　・フィリピン　・プエルトリコ　・米領サモア
・ベネズエラ　・ペルー　・ホンジュラス　・ボリビア
・ミャンマー　・メキシコ

- 本機は国内仕様です。付属の保証書は国内のみ有効です。万一海外で故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用の補償については、ご容赦ください。
- 外部入力は日本と同じカラーテレビ（NTSC方式）に対応しています。

用語解説

DVD-RAM
書き換え可能な記録型ディスクです。

DVD-RW
書き換え可能な記録型ディスクです。DVDビデオ規格（VFモード）、またはDVDビデオレコーディング規格（VRモード）のどちらかを選んで録画することができます。

DVD-R
１回のみ書込み可能な記録型ディスクです。いったん記録した部分は、消したり上書きすることはできません。未記録部分が残っている場合、ファイナライズをする前ならば追加で録画することができます。

DVDビデオ（DVD-VF）規格
動画を記録するために、ファイル名称やディレクトリ構造、データ形式などを定めたアプリケーションフォーマットです。
市販のDVDビデオはこの規格に準拠しています。

DVDレコーダー
DVD-RAM等の記録可能なDVDディスクに映像・音声をDVDビデオレコーディング（DVD-VR）規格で記録できる機器です。また、DVD-RにDVDビデオ規格で記録できる機器もあります。8cm DVD-RAM対応のDVDレコーダーであれば、カメラで撮影したDVD-RAMを再生できます。

DVDビデオレコーディング（DVD-VR）規格
記録可能なDVDディスクに映像データを記録するための規格。
DVDビデオカメラ、DVD-RAM／DVD-RWなどに対応したDVDレコーダーなどが採用しています。

DVDプレーヤー
DVD-VideoやDVD-RにDVDビデオ規格で記録された映像・音声信号を再生できる機器です。DVDカメラで撮影したDVD-Rを再生できます（機器によっては、一部再生できないものもあります）。

SDメモリーカード
1999年に開発されたメモリーカードの規格です。カードのサイズは縦32mm×横24mm×厚さ2.1mmです。端子は９ピンあります。

UDF2.01フォーマット
Universal Disk Formatの略で、OSTA**により策定された光ストレージ用ファイルフォーマットの世界標準規格です。DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）では、UDFのリビジョン2.0または2.01を採用し、DVDビデオカメラだけでなく、DVDビデオレコーダーやパソコンでも使用できるように互換性を確保しています。
** Optical Storage Technology Association
書き込み可能な光ストレージの推進を目的とする団体。

赤外線センサー
ホワイトバランスを調整するためのセンサーです。

サムネイル
撮影した映像の内容を区別するために、ディスクナビゲーションで表示される縮小画面のことです。

シーン
動画の場合…「録画」ボタンを押して記録を開始して、もう一度「録画」ボタンを押して記録を停止するまでの映像。
静止画の場合…「フォト」ボタンを押して記録した 1 枚の画像。

スロットインタイプのパソコン
DVD をトレーなしで直接挿入・排出する DVD ドライブを内蔵したパソコンです。

ディスクプロテクト
DVD-RAM ／ DVD-RW（VR モード）に記録してある映像を誤って削除したり、初期化したりできないように、ディスクに書き込み禁止（プロテクト）を設定することです。

ドルビーデジタル
DVD ビデオで広く使われている音声の記録方式です。この技術を PCM 記録の代わりに用いることで、記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度（ビットレート）の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。

ハウリング
カメラとテレビなどの外部機器を接続した場合に、カメラのマイクに入力された音声がテレビのスピーカーから増幅出力され、その信号が再度カメラのマイクに入力される事が繰り返され、音声信号の無限ループとなり、機器の音声出力振幅限界まで増幅されてしまう現象です。カメラとテレビの位置関係を変えるか、テレビの音量を絞るとハウリングを起こさないようにできます。

パソコンをサスペンド
コンピュータの電源を切る直前の状態を保存して、次に電源を入れたときに電源を切る直前の状態から作業を再開する機能です。

ビデオセレクター
複数の音声・映像信号を入力でき、入力された信号の中から任意の映像・音声信号を選択して出力できる機器です。

ファイナライズ
本機で記録した DVD-RW ／ DVD-R を DVD プレーヤーなど、8cmDVD 対応機器で再生出来るようにする（終了）処理で、ファイナライズしたディスクは、録画ができなくなります。

リニア PCM
ドルビーデジタルと同様に音声の記録方式ですが、リニア PCM は圧縮せず、アナログ信号をサンプリングしてデジタル信号に変換して録音します。したがって、使用されるデータ量はドルビーデジタルよりも多くなってしまいます。

レーザーピックアップ部
ディスクにレーザー光を照射し、ディスクから反射で戻ってくるレーザー光を集め、電気信号に変換する部分です。レーザー、レンズ、受光素子などで構成されています。

操作ができないーチェックしてみましょう

チェック1	動画が撮影できない

動画は、ディスクにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。
- 正しい種類のディスクが入っていますか?
- 電源スイッチは「🎥」に合わせてありますか?
- DVD-RAM/DVD-RW(VRモード)をお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか?
  解除してください(☞ P.149)
- DVD-RW(VFモード)/DVD-Rをお使いの場合、ファイナライズされていませんか?
- 残量がありますか?

それでも撮影できない場合は、ディスクが壊れている可能性があります。
別のディスクをお使いください。

チェック2	静止画が撮影できない

静止画は、DVD-RAMまたはSDメモリーカードにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。
- 正しい種類のディスクまたはカードが入っていますか?
- 電源スイッチは記録メディアに応じたところに合わせてありますか?
  - DVD-RAMをお使いの場合
    「📷」に合わせてください。本機のLOCKスイッチが LOCK(上)になっている場合、LOCKスイッチを LOCK(下)にしてください。LOCKスイッチが LOCK(上)の場合、「📷」には切り替わりません。
  - SDメモリーカードをお使いの場合
    「カード」に合わせてください。
- DVD-RAMをお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか?
  解除してください(☞ P.149)
- SDメモリーカードをお使いの場合、誤消去防止スイッチがロックされていませんか?(☞ P.32)
- 残量がありますか?

それでも撮影できない場合は、ディスクやカードが壊れている可能性があります。
別のディスクやカードをお使いください。

チェック３	スキップ再生やサーチ再生がうまくいかない

本機の内部が高温になると正常に動作しないことがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから再度電源を入れて操作してください。

チェック４	・本機のアクセス /PC 接続ランプがいつまでも点灯または点滅していて、操作ができない ・ディスクを入れてから撮影できるようになるまで、時間がかかる

以下のような場合は、操作ができるようになるまで通常より時間がかかります。
- ディスクを入れた直後
- 最後に電源を切ってから長時間経過したとき
- 前回撮影した状態から気温が大きく変わったとき
- 傷・汚れ・指紋のあるディスクを入れたとき
- 激しい振動が加えられたとき
- 電源スイッチで電源を切らずに、いきなりバッテリーやDCパワーコードを外したとき

チェック５	カメラが動作しない

十分に充電されたバッテリーパックを取り付けてありますか？
または、コンセントから電源がとってありますか？

チェック６	ビューファインダーに映像が映らない

液晶モニターが開いていませんか？
液晶モニターが本機にしっかりロックされるまで閉じていないと、ビューファインダーに映像は映りません。

チェック７	液晶モニターに映像が映らない

- PC 接続ケーブルでパソコンと接続していませんか？
  PC 接続ケーブルを抜いてください。
- ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後で停止していませんか？
  ディスクナビゲーションボタンを押してください。

メッセージが表示されたら

操作の途中でメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示されたときには、その内容に応じて、適切に対処してください。
メッセージは50音順に記載してあります。

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
① 映像ファイルの一部にエラーを検出しました。修復を行いますか？	映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリスト作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。 「はい」を選択すると、自動的に映像ファイルの修復を行ないます。「いいえ」を選択しても、次に電源を入れたときに再び同様なメッセージが表示されます（ディスク認識中にディスクは取り出さないでください。ファイル修復機能が働きません）。 画面の指示に従ってください。このときに以下のような注意事項があります。 修復するときは、ACアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使用しての修復はできません。バッテリーパック使用時は、電源スイッチを一度切り、ACアダプター／チャージャーを接続してから行なってください。 ・修復は通常数分で完了しますが、長時間（1時間程度）かかる場合もあります。 ・電源を切られたタイミングによっては、修復できない場合があります。 ・他のレコーダーなどで記録されたデータが含まれると、正常に修復できない場合があります。 ・不具合箇所の一部削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。 ・修復されたデータ（部分修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。 ・全動画→全静止画の順で修復が行なわれるため、記録内容の前後関係が失われる場合があります（メッセージ② ③の場合のみ）。 ・P.208注1参照。	—
② 映像ファイルにエラーを検出しました。修復を行いますか？		
③ 映像ファイルの一部修復に失敗しました。全修復を行ないますか？		
① このディスクは初期化されていません。カメラで撮影するには初期化が必要です。	カメラ用に初期化されていないDVD-RW／DVD-Rディスクを挿入したときに表示されます。	P.52
② ただし、PC接続端子から記録する場合は初期化しないでください。		
③ ディスクを初期化します。記録フォーマットを選択してください。（DVD-RWディスクをご使用のときのみ表示されます。）		
④ 初期化しますか？（DVD-Rディスクをご使用のときのみ表示されます。）		
ACアダプター／チャージャーを使用してください。	バッテリーパックを使っていると、ファイナライズできません。ACアダプター／チャージャーをお使いください。	P.48 P.152
ACアダプター／チャージャーを使用してください。電源を切ってください。	バッテリーパックを使っていると、映像ファイルの修復はできません。 手元にACアダプター／チャージャーがない場合は、ディスクを取り出し、裏面または他のディスクをお使いください。取り出したディスクを修復するには、後で本機にディスクを挿入し、ACアダプター／チャージャーを接続してから行なえます。	P.48

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
DVD-R* ディスクの場合、一旦記録した後の動画画質、ワイドモードの変更はできません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R の場合、一度記録した後の記録画質およびワイドモードの変更はできません。	P.33
DVD-R* ディスクの場合、一旦ワイド記録した後の入力切替の変更はできません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R の場合、一度ワイド記録した後の入力切替の変更はできません。	P.102
DVD-R* ディスクの場合、ワイドモードの設定は動画画質がSTDのときはできません。	DVD-RW（VF モード）／DVD-R の場合、ワイドモードの設定は動画画質が STD のときはできません。	P.102
いくつかの管理情報を追加できませんでした。	登録されているシーン数が登録可能な最大数に達しています。いくつかのシーンを結合するか、削除してください。	P.119 P.121
映像ファイルの修復に失敗しました。 ディスクを交換してください。	修復しようとしているDVD-R に異常が発生しました。ディスクを交換してください。	—
映像ファイルの修復に失敗しました。ディスクを初期化するか、交換してください。	・修復しようとしているDVD-RAM／DVD-RW に異常が発生しました。ディスクを初期化してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、別のディスクをお使いください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.208 注 2 参照。	P.147
カードエラーが発生しました。	・カードの端子が汚れている可能性があります。汚れを落としてからご利用になるか、別のカードをお使いください。 ・静止画像以外のデータが入っている可能性があります。別のカードをご利用ください。	P.32
カードエラーが発生しました。 カードを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にカードエラーが発生した可能性があります。 使用中のカードを本機に入れたまま電源を切り、AC アダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行ないます。	P.48
カードエラーが発生しました。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 初期化中に中断したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。	P.147
カードエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	カードが壊れている可能性があります。別のカードをご利用ください。	P.32
カードがありません。	カードを入れてください。	P.55
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	誤消去防止スイッチがロックされたカードが入っています。ロックを外してください。	P.32
カード残量がなくなりました。	これ以上の記録はできません。不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	P.34 P.119
カード残量がなくなります。	カードの残量が、静止画で残り 10 枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のカードをお使いください。	P.34 P.119
カード残量が不足しています。	不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	P.34 P.119

*DVD-RW（VF モード）をお使いの場合は「DVD-RW（VF)」と表示されます。

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
カード残量が不足しているため実行できません。	不要な画像を削除してからご利用になるか、別のカードをお使いください。	P.34 P.119
カードを入れてください。	カードが入っていません。カードを入れてください。	P.55
管理情報エラーが発生しました。	記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。管理情報更新を行なってください。	P.151
	・別のディスクをお使いください。 ・P.208 注３参照。	—
記録データがありません。	１シーンも記録されていない状態で、ナビゲーションからの再生、編集を実行しようとした場合に表示されます。	—
記録はできません。	本機に入力されている映像信号にコピーガードがかかっている可能性があります。 映画などの映像ソフトには、コピー防止のためのガードがかかっているものがあります。このような映像は、本機で録画することはできません。	P.89
結合するシーンが複数選択されていません。 シーンを複数選択してから結合してください。	結合したいシーンを２シーン以上範囲選択してから結合してください。	P.121
このカードには記録できません。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	P.32
このカードは使用できません。 カードを交換してください。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	P.32
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。	P.147
このディスクには記録できません。	本機で使用できないディスクが入っているか、壊れている可能性があります。 ディスクの種類が正しいか確認してください。また、ディスクが書き込み禁止になっていないか確認してください。	P.30 P.149
このディスクはPAL方式で記録されています。ディスクを交換してください。	本機はNTSC方式で記録したディスクのみ使用できます。 PAL方式で記録されたディスクは使用できません。	—
このディスクは使用できません。 ディスクを交換してください。	本機で使用できないディスクが入っています。ディスクの種類が正しいか確認してください。	P.30
このディスクは初期化されていません。 初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.208 注２参照。	P.147
削除できるシーンはありませんでした。	ディスクナビゲーションで複数のシーンを削除したとき、選択されているシーンがすべてロックされている場合に表示されます。削除を実行する場合にはロックを解除してください。	P.119 P.127
処理を中断しました。	複数のシーンを処理しているときに ■（停止／キャンセル）ボタンを押して中断したときなどに表示されます。	—
シーンに関連したファイルが見つかりません。	本機以外の機器でDVD-RAMに記録した静止画を、カードにコピーする場合に表示されます。	—

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
シーンを削除できません。	分割などの編集を行ったシーンを削除する際に起こる可能性があります。分割したシーンを結合してから削除してください。	P.121
静止画の記録はできません。	DVD-RW ／ DVD-R を使用していませんか？ DVD-RW ／ DVD-R には静止画の記録はできません。 本機で静止画を記録する場合は、DVD-RAMまたはカードをお使いください。	P.30 P.35
静止画のサムネイルは変更できません。	静止画のサムネイルを変更することはできません。 動画を選択してください。	P.125
静止画は分割できません。	静止画の分割はできません。	P.120
選択可能なシーン数を超えました。 これ以上、選択できません。	選択可能なシーン数は最大 999 シーンです。	P.128
選択シーンが連続していないため、結合できません。	選択シーンが連続していないときシーンの結合はできません。	P.121
選択範囲に静止画が含まれているため結合できません。	動画のみを選択してから結合してください。	P.121
先頭では分割できません。	シーンの先頭と末尾では、分割できません。	P.120
末尾では分割できません。		
ディスクエラーが発生しました。	・別のディスクをお使いください。 ・P.208 注 3 参照。	—
	・本機以外の機器で編集して記録情報の不整合が生じている可能性があります。ディスクを初期化してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 ・初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。	P.147
ディスクエラーが発生しました。初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？初期化中に中断したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.208 注 2 参照。	P.147
ディスクエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	ディスクが汚れているなどの可能性があります。ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 また、初期化が途中で中断されたディスクを再度入れたときにも、表示されることがあります。このようなときは、別のディスクをお使いください。	P.31 P.147
ディスクエラーが発生しました。 ディスクを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にディスクエラーが発生した可能性があります。使用中のディスクを本機に入れたまま電源を切り、AC アダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行ないます。	P.48
ディスクエラーが発生しました。ファイナライズできませんでした。	・ファイナライズ中にディスクエラーが発生し、ファイナライズに失敗したときに表示されます。ディスクを交換してください。 ・P.208 注 3 参照。	P.152
ディスクが高温のため処理を継続できません。 しばらく間をおいてから実行してください。	本機内の温度が高温になっています。本機内の温度が高温になると正常にディスクへの書き込みやディスクからの読み込みができない可能性があります。電源を切って、しばらくお待ちください。	P.49

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスクが初期化されていません。	・ディスクが初期化されていないか、壊れている可能性があります。 このメッセージが出たら、必ず本機で初期化してからお使いください。 それでも同じメッセージが表示される場合は、ディスクが壊れている可能性があります。別のディスクを使用してください。 本機で使用したディスクでも、再度初期化が必要になる場合もあります（初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます）。	P.147
	・P.208 注２参照。	—
ディスクが認識できません。ディスクの傷や汚れ、裏表、正しく装着されているかを確認してください。	ディスク認識中にエラーが発生しました。ディスクに傷や汚れがないか、ディスクの表裏が逆になっていないか、ディスクがきちんとターンテーブルに押し込まれているかを確認してください。P.208 注３参照。	P.31 P.51 P.52
ディスク残量がなくなりました。	ディスクがいっぱいになり、これ以上記録することはできません。	P.33
ディスク残量がなくなります。	ディスクの残量が、動画で１分以内、静止画で 10 枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のディスクをお使いください。	P.33 P.119
ディスク残量が不足しているため実行できません。	不要な映像を削除してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。	P.119
ディスクに保存中です。	撮影した映像をディスクに保存しています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。	P.56 P.58
ディスク認識中です。	正しいディスクが入っているか、本機がチェックしています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。	P.202
ディスクプロテクトされています。 ディスクプロテクトを解除してください。	ディスクプロテクトされたディスクが入っています。 ディスクナビゲーションのメニューからディスクプロテクトを解除してください。	P.149
ディスクを入れてください。	本機、またはディスクを温度の低いところから温かいところへ移すと、カメラのレンズまたは本機の内部に露つきが発生してこのメッセージが表示されることがあります。 ディスクを入れたまま、電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に１～２時間以上、放置してください。	P.18
	ディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	P.51
	・ディスクが正しく入っていません。 ディスクを中央のターンテーブルに「カチッ」と音がするまで押し込んでください。 ・P.208 注３参照。	P.51
	ディスクが裏返しになっていませんか？ 表裏を確認して、ディスクを入れ直してください。	P.51 P.52
動画はカードへコピーできません。	動画はカードへコピーできません。静止画を選択してからコピーを実行してください。	P.126
登録可能なシーン数を超えています。シーンを移動できません。	シーン数が登録可能な上限に達している場合で、シーンの並べ替えをしようとしたときに表示されます。	P.134
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを登録できません。	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	P.134 P.139

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを分割できません。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	P.134 P.139
登録可能なプレイリスト数を超えています。	すでにビデオレコーディング（DVD-VR）規格上限値まで登録済みの場合で、プレイリスト作成で新規もしくは編集が選ばれた場合に表示されます。	P.134
登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。	プレイリストのシーンがすべて削除されました。 規格上、シーンのないプレイリストを保持できていないので、登録シーンがすべて削除されたプレイリストは削除されます。	P.139
バッテリーが消耗しています。 交換してください。	充電したバッテリーに交換してください。 または、ACアダプター／チャージャーをご使用になり、コンセントから電源をとってください。	P.43 P.48
表示分類が"全て"の場合のみ実行可能です。	表示分類が動画／静止画のときに、シーンの結合や並べ替えを選んだ場合に表示されます。	P.153
ファイナライズが途中で中断された可能性があります。ファイナライズしますか？	ファイナライズ途中に停電などで電源が切れたあとに、電源投入・ディスク挿入をした場合に表示されます。 ファイナライズを行なう場合は「はい」を選び、再度ファイナライズを行なってください。	P.152
複数シーン選択時には実行できません。	複数シーン選択時に、分割や、サムネイル変更を実行した場合に表示されます。	P.116
プレイリストが登録されていません。	プレイリストが1つも登録されていない状態で、プレイリスト切替を選んだ場合に表示されます。	P.136
プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？	シーン削除の際に表示されます。 ディスク内にプレイリストがある場合に、プログラムでシーン削除を実行すると表示されます（プレイリストでシーン削除をしてもメッセージは表示されません）。	P.119
プログラムが異なるため結合できません。プレイリストを作成し、結合してください。	プログラムが異なるシーンの結合はできません。結合したい場合は、プレイリストを作成してください。	P.121
プロテクトされたシーンが含まれます。シーンを削除しますか？	本機以外の機器でソフトウェアプロテクトがされている可能性があります。その場合はソフトウェアプロテクトをかけた機器でソフトウェアプロテクトを解除してください。	—

注1）・ディスクに汚れが付着したときにこのメッセージが出ることがあります。もし、映像を記録済みのディスクを入れた直後のディスク認識動作後にこのメッセージが表示されたときは、修復をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを付属のディスククリーニングクロスでふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にこのメッセージが出ることがあります。この場合は、修復をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・カメラで記録後、カメラからディスクを取り出さないで、電源を切→入して、修復メッセージが出た場合は、修復を選択してください。
・他のディスクだと正常に記録再生できる場合で、結露もディスクの汚れもないのに修復メッセージが出る場合は、修復を選択してください。

注2）・ディスクに汚れが付着したときにこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを付属のディスククリーニングクロスでふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・初期化するとディスクに記録されている内容は消去されます。

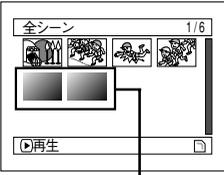
注3）・ディスクに汚れが付着したときにこのメッセージが出ることがあります。ディスクを取り出して、ディスクの汚れを付属のディスククリーニングクロスでふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にこのメッセージが出ることがあります。乾いてからご使用ください。
・片面ディスクの場合、ディスクの裏表が逆になっているとこのメッセージが出ます。ディスクを正しい向きに入れ直してください。（レーベル印刷面を外側にして挿入してください）。

故障かな…と思ったら

修理を依頼する前に、下記のことをお調べください。それでも動作に支障が出たときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては、P.217 をご覧ください。

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
電源について	バッテリーパックが充電されない ＊右の対処で解決しない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。	AC アダプター／チャージャーに DC パワーコードが接続されていませんか？ 外してください。	P.43 P.48
		バッテリーパックが異常に熱くなっていませんか？ バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 充電は気温が 10 ～ 30℃の環境で行なってください。	P.43
		長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？ 一度バッテリーパックを外し、取り付けなおしてください。	P.46 P.47
	バッテリーパックがすぐになくなる	気温が低い場所で使用しませんでしたか？ 満充電されたバッテリーパック（DZ-BP14S/DZ-BP14SJ/DZ-BP21SJ）は、気温の低い場所などでは通常よりもバッテリーの消耗が早くなることがあります。 気温の低い場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めにご用意ください。	P.45 P.46
		バッテリーパックの寿命が考えられます。 バッテリーパックは、長期間あるいは頻繁に使用すると、性能が劣化します。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	P.47
	AC アダプター／チャージャーの CHARGE ランプが点滅している	バッテリーパックが過剰に放電している可能性があります。そのまましばらく充電を続けると、規定の電圧まで充電され、充電ランプが点灯します。その後、正常に充電されます。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 充電は気温が 10 ～ 30℃の環境で行なってください。	P.43 P.44
	電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックを充電してください。	P.43
	電源を入れると、液晶モニターがついたり消えたりする		
	途中で電源が切れる	パワーセーブの設定が「オン」になっていませんか？ 「オン」に設定してあると、電源を入れたままの状態で撮影や再生をしないで５分以上経過すると、自動的に電源が切れてしまいます。電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。自動で電源を切らないようにするためには、パワーセーブの設定を「オフ」にしてください。	P.110

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
	電源が切れない	バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを抜いてください。その後、本機のRESETボタンを押し、再度電源を入れてください。	P.44 P.48 P.216
	電源を切っているのに、ふたを開けると、アクセスランプが点滅する	ディスクを認識するために自動的に電源が入ります。ふたを閉めると自動的に電源が切れます。	P.51
撮影・録画時	「録画」ボタンを押しても録画が始まらない	入力されている映像にコピーガードがかかっていませんか？ ディスクプロテクトやカードロックがかかっていませんか？	P.32 P.89 P.149 P.201
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。それでも改善されない場合は、ディスクを交換してください。	P.31
		他のAV機器から直接本機の映像／音声入力端子に接続していますか？ AVセレクタなど多くの機器を経由して接続すると、映像信号がうまく伝わらない場合があります。その場合は、映像信号が経由する機器の数を減らすか、直接接続してください。	P.88
		テレビゲーム機やパソコンの映像を録画しようとしていませんか？テレビゲーム機やパソコンの機種によっては、映像を本機で録画できない場合があります。	—
	液晶モニターが見にくい	液晶モニターの明るさは調節しましたか？ 撮影や録画を停止し、液晶モニターの明るさを調節してください。	P.108
		屋外で使用していますか？ ビューファインダーをお使いください。液晶モニターをお使いになる場合は、液晶モニターに直射日光が当たらないように、角度を調節してみてください。	P.39 P.40
	液晶モニターに表示ムラができる	液晶モニターやそのまわりを押しませんでしたか？ 液晶モニターを圧迫すると映像ムラが生じます。手を離して、しばらく放置すると元に戻ります。	—
	ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？ 手動でピントを合わせてください。	P.79
		「MF」と表示されていませんか？ マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	P.78
		ビューファインダーの場合は、視度調節が合っていますか？ 視度調節をしてください。	P.40
		上記以外の場合は、一度電源を切り、入れなおしてください。	P.49
	修復エラーメッセージが出たら	修復はACアダプターでしかできません。 ディスクを取り出し、別のディスクを入れてください。取り出したディスクは、ACアダプターをつないで修復できます。	P.48

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
再生時	ディスク認識が終了しない	ディスクが汚れていませんか？ 付属のディスククリーニングクロスでふきとってください。	P.31
	再生ボタンを押しても再生できない	本機以外で記録した映像ではありませんか？ 本機以外で記録した映像は、本機で再生できないことがあります。	P.64
		本機以外で映像を編集しませんでしたか？ 本機以外で本機の映像を編集すると、本機では再生できないことがあります。	P.64
	テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切替は正しく設定されていますか？ テレビによってはビデオ入力が複数あるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。 ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切替を「外部入力」（LINE）にしてください。	P.86
		テレビと正しく接続されていますか？ 接続を確認してください。	P.85
	再生画面が一瞬途切れることがある	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。	P.31
	再生映像の画質が悪い	アナログ方式のビデオ（VHSや8mm）からのAV入力映像を録画した映像ではありませんか？ 再生側にTBC回路を搭載したビデオデッキを用いると改善される場合があります。	—
	再生静止画像にぶれが多い	外部入力で「フレーム」を選択して撮影しませんでしたか？ 記録機能設定の「外部静止画入力」を「フィールド」に設定してください。	P.105
	音声が出ない	テレビの音量は正しく設定されていますか？ テレビの音量を調節してください。	P.86
	ディスクナビゲーションのサムネイルが表示されない	AV／S入出力端子に接続して録画したときに、映像が乱れていませんでしたか？ ノイズや乱れのない映像を録画してください。	—
	カードの静止画が再生できない	本機では、SDメモリーカードに記録されDCF規格に対応した他のデジタルカメラの画像データを再生することができます。ただし、再生できる画素数は、水平方向80画素×垂直方向60画素から水平方向4000画素×垂直方向3000画素までです。この画素数の範囲外の場合、青色のサムネイル（右図*）が表示され再生できません。 上記画素数内であっても、他のデジタルカメラの記録状態によっては、再生できない場合があります。 DCF(Design rule for Camera File system)とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。	—

故障かな…と思ったら

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
	カードの静止画再生に時間がかかる	静止画を再生すると、“再生を開始します。”と表示されますが、画素数の大きな静止画では表示されるまでに時間がかかります。	—
パソコンと接続しているとき	パソコンにドライブアイコンが表示されない	カメラの電源は入っていますか？ 電源を確認してください。	P.49
		パソコンの電源を切ってからPC接続ケーブルを一度外してください。再度パソコンの電源を入れて、PC接続ケーブルで本機と接続してください。	—
		ＰＣ接続ケーブルが本機に根元まで挿入されているか、確認してください。	P.167
	本機のパソコン再生で再生異常が発生する	USB接続で発生する場合は、転送レートが十分で無い場合に発生します。USB2.0に対応したUSB端子に接続することをおすすめします。	P.161
	パソコンのアプリケーションが正常に動作しない	一度パソコンと本機の電源を切り、再度試してください。	—
	ディスクへの書き込み中にエラーが出る	本機が連続動作により、高温になっています。 一度パソコンと本機の接続を外し、本機からディスクを取り出したあと本機の電源を切ってください。しばらくしてから再度接続し、新しいディスクに書き込みを行なってください。	P.169
	映像を転送している間に停止してしまう	お使いのパソコンの別のUSB端子に接続してください。デスクトップ型パソコンの場合、リアパネルのUSB端子をおすすめします。USB2.0の拡張カードをお使いの場合は、各USB2.0のメーカーが提供する、最新版のドライバをインストールされることをおすすめします。	P.169
	添付のソフトウェアをインストールしたら、パソコンに内蔵しているDVDドライブが使えなくなった	お使いのパソコンのDVD編集／作成ソフトウェアをバージョンアップするか、UDFドライバをアンインストールすると解決することがあります。ただし、Windows® Me / 2000 Professionalの場合は、UDFドライバをアンインストールすると、本機のDVD-RAMに記録されたJPEG静止画をパソコンで読み出せなくなります。	—
	DVD-MovieAlbumSEでDVD-RW（VFモード）／DVD-Rが再生できない	DVD-MovieAlbumSEはDVD-RW（VFモード）／DVD-Rの再生、取り込みに対応しておりません。パソコンでのDVD-RW（VFモード）／DVD-R再生には、市販のDVDビデオ再生ソフトウェアをご利用ください。	P.173

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	DVD-MovieAlbumSEを起動するとエラーが表示される。またはパソコンが応答しなくなる	お使いのパソコンのディスプレイアダプタ（ビデオカード）がDirectx8.1に対応しているかご確認ください。	P.161
	DVD-MovieAlbumコピーツールでパソコンのハードディスクに取り込んだ映像が編集できない	DVD-MovieAlbumSEはパソコンのハードディスクに保存されたDVD-VRデータを編集することはできません。そのデータを別のDVD-RAMにコピーしてから編集してください。	P.170
	パソコンのアプリケーションから動画が認識されない	本機の電源スイッチが「 」または「 」になっていることをご確認ください。	P.49
	パソコン接続中にディスク取出しボタンが効かない	パソコン接続中のディスクの取り出しは、各アプリケーションのイジェクトボタンをクリックするか、エクスプローラから本機のドライブアイコンを右クリックして「取り出し」を実行してください。 DVD-MovieAlbumSEが起動している場合は、DVD-MovieAlbumSEのイジェクトボタンをクリックすると本機のディスク挿入部のふたが開きますのでディスクを取り出してください。	P.170
	パソコンでDVD-RAM内のファイルのタイムスタンプを見ると、撮影時刻とずれている	本機のファイルシステムはGMT(グリニッジ標準時）で動作しており、時差情報は未設定となっています。2005年1月現在のWindows®では、エクスプローラから見えるファイルのタイムスタンプは撮影時刻と差があるように見えます。なお、再生画面上の日付表示は実際の撮影時刻で表示されます。	—
	DVD-MovieAlbumSE起動時に「ドライブX：のディスクはDVD-MovieAlbumSEでは使用できません。」と表示される	DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）以外のディスクがドライブにセットされている。DVD-MovieAlbumSEはDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）以外のメディアにはお使いになれません。	P.175
		そのダイアログボックスの「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集するDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	
	DVD-MovieAlbumSEを起動しても、記録されているはずの映像が表示されない	DVD-MovieAlbumSE画面の右上にある「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集するDVD-RAM／DVD-RW（VRモード）の入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	P.175

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	DVD-MovieAlbumSEで「切り出し」を行なうと、読み込みに時間がかかる	切り出す範囲に静止画が含まれていると、再エンコードしながら読み込まれるため、時間がかかる場合があります。	P.176
		「チャプター毎に分割」を選択していないと、再エンコードしながら読み込まれることがあるため、時間がかかる場合があります。	
	「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう	Windows® を一旦終了してから、取り外してください。 Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、Windows® 2000 サービスパック３以降をインストールすると解決する場合があります。	P.174
	USB2.0 カードを使っているのに、USB2.0 HS（高速）モードで接続されない	USB2.0カードに付属しているドライバをインストールされたかご確認ください。USB2.0 カードをHS（高速）モードで動かすためには、USB2.0カードの製造元が提供するドライバが必要です。	—
その他	電源が入らない、ボタンを押しても操作を受け付けない	システムリセットを行なってください。	P.216
		カメラに強い衝撃を与えませんでしたか？ 本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	日付・時刻が合わなくなった	使用しない期間が長期に及びましたか？ 内蔵電池がなくなっている可能性がありますので、充電してください。	P.42
	シーンの削除ができない	削除したいシーンにカーソルが合っていますか？ 黄色のカーソルで任意のシーンを選んでも選択済のシーン（赤ワクのあるシーン）があるとそのシーンが削除されてしまいます。 サムネイル画面でカーソルとバーグラフの色を確認してください。	P.116 P.119
	ディスクが取り出せない（ふたが開かない）	電源を切る前にバッテリーパックやACアダプター／チャージャーを外しませんでしたか？ バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーをもう一度接続して「ディスク取出し」ボタンを押してください。 バッテリーパックの残量がなくなり、電源が切れていませんか？ 電源スイッチを「切」にして、「ディスク取出し」ボタンを押してください。	P.52 P.54

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
その他	リモコンで操作できない	リモコンをカメラの受信部に向けていますか？ カメラの受信部に向けて操作してください。	P.38
		カメラの受信部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていませんか？ 受信部に強い光が当たっていると、操作できません。 カメラの置き場所や角度を調整してください。	P.38
		リモコンに電池は入っていますか？ 電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	P.37
		カメラの電源は入っていますか？ カメラの電源を入れてください。	P.49
	ふたが閉まらない	ディスクが正しく挿入されていますか？ ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	P.51
		充電されたバッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを接続し、カメラの電源を入れてください。	P.44 P.48
	周期的に動作音がする	ディスクを周期的に動作させているために出る音です。故障ではありません。	—
	手に振動を感じる、本機から小さな音がする	ディスクドライブの動作により発生しています。故障ではありません。	—

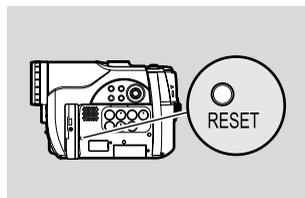
システムリセット

本機が正常に動作しないときは、システムリセットを行なうと、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定しなおしてください。

1 電源を切る

電源スイッチを「切」に合わせてください。
バッテリーパック、ＡＣ アダプター／チャージャーも外します。

2 先の細いペンなどでRESETボタンを数秒間押す

システムがリセットされます。

• RESET ボタンは強く押さないでください。

●設定項目一覧

	設定項目	初期設定	設定方法
カメラ機能設定	プログラム AE	オート	P.94
	ホワイトバランス	オート	P.96
	手振れ補正	オン	P.98
	デジタルズーム	40x	P.62
	マイクフィルター	オフ	P.99
記録機能設定	動画画質	FINE	P.100
	静止画画質	FINE	P.103
	ワイドモード	オフ	P.101
	入力切替	カメラ	P.104
	静止画外部入力	フィールド	P.105
	セルフタイマー	オフ	P.106
	画面表示出力	オン	P.107
日付機能設定	日付設定	2005/ 1/ 1 AM0:00	P.41
	表示モード	年 / 月 / 日	P.42
LCD／EVF 設定	LCD 明るさ	< >	P.108
	EVF 明るさ	< >	P.108
	色のこさ	< >	P.109
	EVF 表示	オート	P.109
初期設定	操作音	オン	P.110
	パワーセーブ	オフ	P.110
	録画ランプ	オン	P.111
	言語切替	日本語	P.112
	デモモード	オート	P.197

※ 使用するディスクやカードによっては表示されない項目もあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）	保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 保証期間は、お買い上げ日から1年です。
補修用性能部品の保有期間	当社はこのDVDビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
ご不明な点や修理に関するご相談は	修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の「ご相談窓口」にお問い合わせください。
転居されるときは	ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。
修理を依頼されるときは（持込修理）	本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」（☞P.209～215）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。 保証期間中は保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。 なお、DVDビデオカメラ本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（記録内容の喪失など）の責については、ご容赦ください。 アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。 品名：DVDビデオカメラ 形名：DZ-GX25M 故障の状況：（できるだけ具体的に）

修理を依頼されるときは（持込修理）

修理料金のしくみ	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育料、測定器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張費	商品のある場所への技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

主な仕様

項目		仕様
CCD		1/3.6 型インターレース 総画素数 約 212 万画素 有効画素数 動　画：約 123 万画素 静止画：約 192 万画素
レンズ		F1.8-2.2 f=4.5-45mm、10 倍 フィルター径 34mm、ネジピッチ 0.5mm
フォーカス		オートフォーカス／マニュアルフォーカス
ズーム		光学 10 倍／デジタル併用240倍、静止画時は40倍
必要最低照度		24 ルクス （ローライトモード時：1 ルクス）
ビューファインダー		0.2 型カラー（約 20 万画素相当）
液晶モニター		2.5 型カラー TFT（約 12 万画素）
手ぶれ補正方式		電子式
シャッター速度		1/4 〜 1/4000（動画）
セルフタイマー撮影		あり　（静止画モードのみ）
外部マイク端子		ステレオミニジャック φ 3.5mm プラグインパワータイプのマイクはご使用できません。
撮影モード		動画（音声つき）
		静止画（DVD-RAM ／ SD メモリーカード）
動画最大記録時間 （片面あたり）	DVD-RAM ／ RW ／ R	(XTRA) 約 18 分／(FINE) 約 30 分／ (STD) 約 60 分
静止画最大 記録枚数	DVD-RAM （片面あたり）	約 750 枚 外部入力時→最大 999 枚 ただし動画と混在の場合、枚数が減少します。
	カード （32MB カード使用の場合）	約 29 枚（FINE モード時） 外部入力時→約 232 枚（FINE モード時） ただし画質やカードの種類により異なります（☞ P.34）。

記録方式	DVD-RAM／DVD-RW（VRモード）	動　画：DVDビデオレコーディング（DVD-VR）規格 音　声：ドルビーデジタル 静止画：JPEG規格（DVD-RAMのみ） 1,600×1,200画素、外部入力時→640×480画素、およびDVDビデオレコーディング（DVD-VR）規格（704×480画素）の同時記録
	DVD-R／DVD-RW（VFモード）	動　画：DVDビデオ規格 音　声：ドルビーデジタル
	カード	静止画：JPEG規格 1,600×1,200画素
音声再生方式		ドルビーデジタル、リニアPCM、MPEGオーディオレイヤー2
記録メディア		8cmDVD-RAM（DVD-RAM Ver. 2.1準拠） 8cmDVD-RW（DVD-RW for General Ver. 1.1準拠2倍速［2x／1x］） 8cmDVD-R (DVD-R for General Ver. 2.0準拠) ※丸型ホルダーやカートリッジなどに入っていない裸のディスク専用 SDメモリーカード
端子		映像音声入出力×1、外部マイク入力×1、PC接続端子（パソコンのUSB端子へ接続）×1
バッテリーパックシステム		リチウムイオン
消費電力		液晶モニター切/録画時（DVD-RAMディスク使用時） 約4.4W（FINE）
外形寸法（幅×高×奥行）		約51x90x137mm(突起物含まず)
許容動作温度（湿度）		0～40℃（80%以下） ただしパソコンとの接続時は、0～30℃
本体質量		約480g（バッテリーパック、ディスク等含まず）
撮影時総質量		約555g（バッテリーパックDZ-BP14S使用時）
付属品		ACアダプター／チャージャー、バッテリーパック、AV／S入出力ケーブル、リモコン、リモコン用リチウム電池、レンズキャップ、レンズキャップひも、ショルダーストラップ、電源コード、DCパワーコード、PC接続ケーブル、CD-ROMディスク、ディスククリーニングクロス

索引

索引の見かた
見出し言語と同一のものは「～」で省略してあります。

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

同梱のCD-ROMの開封前に必ずお読みください

本契約は、本製品に同梱されているCD-ROMのパッケージの開封によってご同意いただいたものとさせていただきます。
本契約にご同意いただけない場合には、ただちに未開封の記録媒体のパッケージと同封物（印刷物、外装パッケージ、その他一切のもの）をお買い上げの販売店にご返却いただくか、記録媒体のパッケージのみをお買い上げの販売店にご返却ください。
未使用の製品についての代金の返還手続きに関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。ただし記録媒体のパッケージのみご返却の場合は、代金の返還には応じかねます。

この使用許諾契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明となります。

使用許諾契約書

第１条　使用権の許諾
株式会社 日立製作所は、お客様に対し、本契約書とともに入手した下記製品（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。
（a）お客様は、本ソフトウェアを特定の一装置においてのみ使用することができます。ただし、特定の一装置が故障等で使用できない場合、本ソフトウェアを一時的に他の装置で使用することができます。
（b）本ソフトウェアには、独立した機能をコンピュータ上で実行する複数のコンポーネントが含まれていますが、全てのコンポーネントをもって１つの製品として扱わなければなりません。いかなる場合も各コンポーネントを同時に複数のコンピュータ上で使用することはできません。

第２条　著作権
本ソフトウェア及び添付マニュアル等の著作権は、松下電器産業株式会社が有するものであり、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法及び国際条約により保護されています。

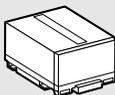
第３条　その他の権利及び制限
（a）お客様は、バックアップまたは保管目的での複製を除き、本ソフトウェア及び本ソフトウェアに付属する全ての印刷物を複製できません。
（b）お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させてはなりません。
（c）お客様は、本ソフトウェアについて逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。
（d）お客様は、本記録媒体上にあるいかなるファイルを商業的に複製または再配布することはできません。

第４条　品質保証
いかなる場合においても、株式会社 日立製作所、松下電器産業株式会社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

第５条　契約の解除
お客様が本契約に違反した場合、株式会社 日立製作所、松下電器産業株式会社は、本契約を解除することができるものとします。その場合、お客様は、本ソフトウェアの複製物及びその構成部分を全て破棄しなければなりません。

第６条　優先される使用許諾契約書
ソフトウェアによっては、インストール時に使用許諾契約書が表示されるものがあります（以下、その契約書をオンライン使用許諾契約書と呼びます）。
オンライン使用許諾契約書とこのページの使用許諾契約書に矛盾がある場合は、オンライン使用許諾契約書が優先されるものとします。

お出かけ前に機材のチェック

試し撮りをしてからお出かけください。

十分充電されていますか？
予備をお持ちの方は、撮影時間に応じた本数をお持ちください（☞P.45、46）。

空き容量は十分ですか？
- DVD-RAM（片面あたり）
  記録時間：約30分（FINEモード）
  記録枚数：約750枚（静止画のみ）
- DVD-RW／DVD-R
  記録時間：約30分（FINEモード）
- カード（32MB）
  記録枚数：約29枚（FINEモード）

※記録時間や枚数は目安です。
記録画質や被写体の状況などにより変わります（☞P.33、34）。

ディスクは予備をお持ちになることをおすすめします。外出先（バッテリーパック使用時）で万一、記録が継続できなくなった場合、予備のディスクをお使いください。
ディスクは本機と組合せ動作が確認されている日立マクセル製のHGタイプの片面ディスクをお使いになることをおすすめします。
HGタイプの両面ディスクをお使いになる場合は、取り扱いに十分ご注意ください。
日立マクセル製HGタイプのディスク以外をお使いになると、本機の性能が十分発揮されないことがあります。

あると便利
- ACアダプター／チャージャー
- 電源コード
- DCパワーコード

コンセントから電源をとったり、バッテリー充電ができます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的とされていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Microsoft®、Windows®、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XPは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
Intel® Pentium® Processor、Celeron® Processorは、Intel Corporationの登録商標です。
IBM® PC/AT®（DOS/V）は米国IBM社の登録商標です。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、ダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
SDロゴは商標です。
その他、各会社名・各製品名は各社の登録商標、商標、または商品名称です。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）365日／9:00～19:00

DVDカム商品情報

http://av.hitachi.co.jp/cam/

DVDカムパソコンソフトサポート情報

DVDCAM PC Software Support Center in English and French.
http://dvdcam-pc.support.hitachi.ca/
（日本語で表示されていない場合、ページ右上の日本語ボタンをクリックしてください）

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
（受付時間）9:00～17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

パソコンとの接続に関するお問い合わせは

0120-147-226
日立マルチメディアインフォメーションセンター
受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00／
携帯電話、PHSからは、ご利用できません
（土、日、祝日および弊社の休日は休ませていただきます）

愛情点検

長年ご利用のDVDビデオカメラの点検をぜひ！　DVDビデオカメラの補修用性能部品の保有期間は、8年です。

このようなことはありませんか？
- ●電源コード・プラグが異様に熱くなる。
- ●画像が乱れたり、きれいに映らない。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客さまメモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	電話　（　　）　－
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製品本体と保証書の製品番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

QR35741©Hitachi,Ltd.2005　Printed in Japan 0G-G (I)